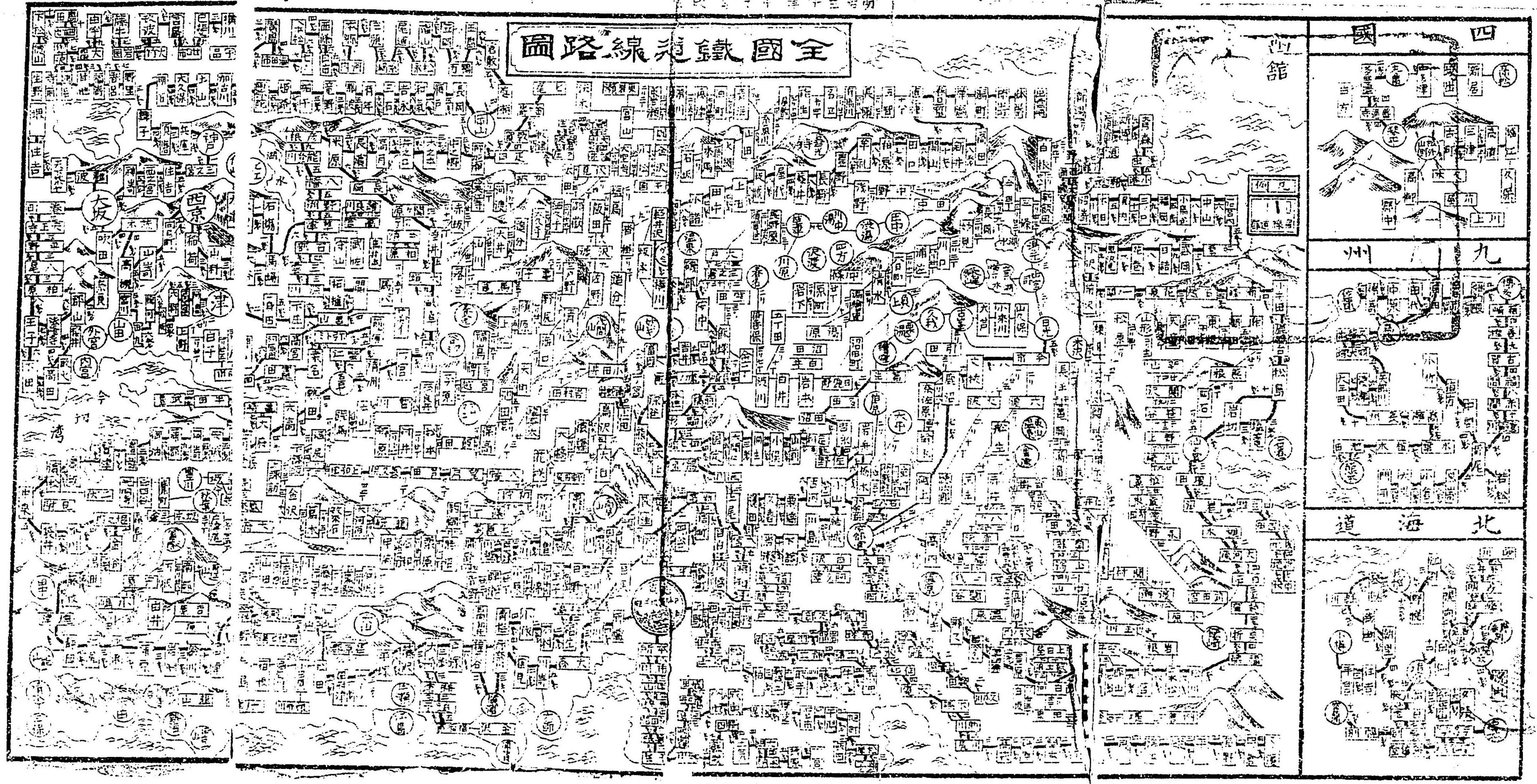


全國鐵道線路圖



四
州
九
道
海
北

此圖係根據民國二十一年十月三十日之鐵道線路圖編製而成。圖中各站名均用國文標註。凡有火車經過之處，均用圓圈表示。凡有火車經過之處，均用圓圈表示。凡有火車經過之處，均用圓圈表示。

緒言

鐵道の便開けて陸上交通頻繁なるに従ひ商業に工業に漫遊に避暑に保養に探勝に旅行の増加を促かすに至るは是れ社會必然の勢にして近時益々鐵道の繁雜を見る所以なり此の時に方り能く鐵道旅客の便利快樂を満たすに足るの捷徑は蓋し之れが有益なる旅行案内書に若くものなかるべし然るに現時世に梓行しある所のものは或は繁に過ぎざれば簡に過ぎ或は乾燥無味の地誌的文ならざれば冗漫贅記の紀行的文に偏し未だ旅行者の希望を満たすに足るの一實用案内書あるを見ず弊社今回茲に見るあり旅行者の便利快樂併せ得るの最良案内書を發行し以つて聊か世の旅客錦囊の万分一を補せんと欲す是れ本書鐵道旅行獨案内の出づる所以なり希くは四方の雅君一讀して本書の眞に其名に負かざるを知り賜へ

中央にして商業繁盛の地麴町區は各省のある所にして多く官吏の住する所たり神田本郷區は各學校のある所にして書生多く住す赤坂牛込小石川麻布區は閑靜の地多くして各市の端に位す遊覽所の重なるものは宮城二重橋、赤坂離宮、向島隅田川、上野公園、不忍池、淺草觀音、淺草公園、凌雲閣、芝公園、増上寺、九段坂靖國神社、橋には日本橋、兩國橋、吾妻橋、萬世橋、鹿橋、新大橋等著しきものあり神社には湯島天神、神田明神、愛宕神社、琴比羅神社、日吉山王、龜戸神社等あり其他名所には團子坂の菊、入谷の薜、待乳山の夕景、等又近在には目黒の瀧目白の不動等幽邃の地あり

旅宿一覽

- | | |
|-----------------|---------------|
| 帝國ホテル(麴町山下町二丁目) | 桃李館(京橋區加賀町) |
| 東京ホテル(同有樂町三丁目) | 水明館(全木挽町二丁目) |
| 山城軒(京橋山城町) | 萬屋(全木挽町三丁目) |
| 精養軒(全采女町) | 加賀屋(全築地一丁目) |
| 對山館(全山下町) | 蓬萊屋(日本橋區通三丁目) |
| 對鶴館(全元敷寄屋町二丁目) | 梅鶯軒(全濱町三丁目) |
| 成勢館(全三丁目) | 信夫亭(全吳服町) |
| 茂林館(全南鍛冶町) | 魚十(全蠣殻町壹丁目) |
| 常盤館(全卅間堀三丁目) | 陸前屋(全久松町) |
| 總房館(全尾張町二丁目) | 伊勢屋(全高砂町) |
| 山下館(全山城町) | 刈豆屋(全馬喰町一丁目) |
| 佐々部ひで(全丸屋町) | 大松屋(全上) |

伊東屋(全南傳馬町二丁目)
 中央旅館(全五郎兵衛町)
 西本信良(全銀坐二丁目)
 西澤半助(全南金六町)
 双樹軒(全尾張町一丁目)
 萬年屋(全西紺屋町)
 眞鶴館(全富島町)
 島屋(日本橋區西河岸町)
 島屋(全數寄屋町)
 山本屋(全上)
 大阪屋(全馬喰町三丁目)
 島屋(全本石町四丁目)

伏見屋(全上)
 鍵屋(全三丁目)
 山城屋(全上)
 羽前屋(全上)
 相摸屋(全上)
 梅相摸屋(全上)
 梅喜(全上)
 梅治(全三丁目)
 會津屋(全上)
 萬(全上)
 相摸屋(全小網町二丁目)
 長島屋(全三丁目)

越後屋(全上)
 久保田屋(全上)
 茗荷屋(全三丁目)
 伏見屋(全二丁目)
 山田屋(全小傳馬町二丁目)
 森谷(全三丁目)
 小松屋(全上)
 近江屋(全大傳馬町二丁目)
 上州屋(全大傳馬壇町)
 木屋(全田所町)
 玉久(全富澤町)
 大丸屋(全新和泉町)

入中(全上)
 伊勢安(全檜物町)
 三河屋(全神田小柳町)
 伊勢屋(全上)
 小崎(全佐久間町二丁目)
 越前屋(全三崎町一丁目)
 栗屋(全連雀町)
 大塚屋(全上)
 矢澤屋(全上)
 萬代屋(全上)
 關根屋(全淡路町二丁目)
 萬屋(全山本町)

眞鍋録藏(全上)	山下館(下谷御徒士町三丁目)
樋口屋(全本銀町)	名倉屋(全車坂町)
名倉屋(全室町三丁目)	群玉舎(全上)
山城屋(下谷下谷町)	埼玉屋(全三橋町)
丁子屋(浅草茅町一丁目)	筑波館(芝區鳥森町)
松阪屋(全材木町)	聚星館(全芝口一丁目)
福井樓(全新平右衛門町)	蓬萊屋(全上)
相摸屋(麴町區麴町五丁目)	川崎屋(全上)
丸三(全平河町四丁目)	相摸屋(全櫻田本郷町)
神泉亭(本郷區根津須賀町)	信濃屋(全南佐久間町二丁目)
吾妻屋(芝區島森町)	植木屋(全柴井町)

名物は流行唐物類、東錦繪、浅草海苔、佃煮、江戸川紙、足袋、小間

物類、駒下駄、和洋菓子、櫛、簪等とす

◎新橋停車場 起點地

●品川 距新橋停車場 三哩十八鎖(但八十鎖を以て一哩とす)

此驛は赤羽線に續く支線あり戸數三千五百餘名勝古跡にハ停車場より北五町餘に名高き泉岳寺澤庵和尚の開基に係る東海寺紅葉の名所なる海晏寺古へ櫻花の勝地なりし御殿山等あり

●大森村 全 五哩七十六鎖

此村は戸數一千九百二十古へ大なる森ありしが爲め其の名起れりと云ふ太田持資の平安紀行の歌に「大森の木の下蔭の涼しさに知るも知らぬも立ちとまりけり」とあり近傍に名勝少からず停車場の西隣に昔し八景坂の稱ありし八景園あり南凡二十町に

は行方彈正が花園の舊地なりし蒲田の梅林あり停車場より西南一里許の所には立春梅園と稱する原村梅林あり又停車場より西南凡二十五町の所には日蓮上人遷化の舊跡なる名高き本門寺あり寺中には弟子日法の刻みし日蓮上人の像并に日蓮上人自筆の法華經等の寶物を藏す池上温泉は本門寺にあり冷泉にして多量の炭酸少量の硫氣を含み沸して温浴となす又名高き淺草海苔は實に此村より産出す

●川崎 全 十哩十八鎖

此驛は戸數七百五十あり名高き川崎大師は停車場より東二十町の所にあり其弘法大師の木像は海中より出顯せしものと云ふ毎月二十一日を以つて縁日とす此驛又近傍に梅桃の名勝地多し小向梅林、洲河原桃林と云ふ小向梅林は川崎の西北凡二十五町の

處にあり成島柳北翁の世に顯はせし梅林にて柳北翁の碑あり洲河原桃林の川崎渡船場より大師河原に至る一帯の桃林なり末廣鐵腸の小桃源の記を作りし地なり

●鶴見 全 十二哩三十五鎖

戸數八百、人口四千四百、村より二十町計の街道に生麥と云ふ所あり安政年間薩藩の士の英人を斬りし地にして一の碑石を立つ

●神奈川 全 十六哩三十五鎖

戸數二千六百餘飯塚權現満願寺本覺寺等あり

旅宿 奈古家 田中屋 新羽屋 舛村屋 大米屋

●横濱市 全 十八哩十鎖

戸數三萬北部は本町、辨天通、南北仲通等商家櫛比し又南部には外國人の居留地あり市の西には伊勢山公園あり本牧天神の祠は

は行方彈正が花園の舊地なりし蒲田の梅林あり停車場より西南
二里許の所には立春梅園と稱する原村梅林あり又停車場より西
南凡二十五町の所には日蓮上人遷化の舊跡なる名高き本門寺あ
り寺中には弟子日法の刻みし日蓮上人の像并に日蓮上人自筆の
法華經等の寶物を藏す池上温泉は本門寺にあり冷泉にして多量
の炭酸少量の硫氣を含み沸して温浴となす又名高き淺草海苔は
實に此村より産出す

●川崎 全 十哩十八鎖

此驛は戸數七百五十あり名高き川崎大師は停車場より東二十町
の所にあり其弘法大師の木像は海中より出顯せしものと云ふ毎
月二十一日を以つて縁日とす此驛又近傍に梅桃の名勝地多し小
向梅林、洲河原桃林と云ふ小向梅林は川崎の西北凡二十五町の

處にあり成島柳北翁の世に顯はせし梅林にて柳北翁の碑あり洲
河原桃林ハ川崎渡船場より大師河原に至る一帯の桃林なり末廣
鐵腸の小桃源の記を作りし地なり

●鶴見 全 十二哩三十五鎖

戸數八百、人口四千四百、村より二十町計の街道に生麥と云ふ所
あり安政年間薩藩の士の英人を斬りし地にして一の碑石を立つ

●神奈川 全 十六哩三十五鎖

戸數二千六百餘飯塚權現満願寺本覺寺等あり

旅宿 奈古家 田中屋 新羽屋 舛村屋 大米屋

●横濱市 全 十八哩十鎖

戸數三萬北部は本町、辨天通、南北仲通等商家櫛比し又南部には
外國人の居留地あり市の西には伊勢山公園あり本牧天神の祠は

南端にありて海水浴場の設あり太田には温泉あり遊客多し又山の手一帯は幽趣にして風光に富み閑棲に適せり
旅店の重なるものを舉ぐれば

- | | | | |
|-----|-----------|-----|-----------|
| 高野 | 屋(本町四丁目) | 和田 | 屋(辨天通六丁目) |
| 上州 | 屋(本町六丁目) | 松本 | 屋(本町四丁目) |
| 福井 | 屋(辨天通五丁目) | 萬 | 屋(北仲通四丁目) |
| 蓬萊 | 屋(海岸通五丁目) | 松井 | 屋(本町四丁目) |
| 廣島 | 屋(本町五丁目) | 俵 | 屋(本町五丁目) |
| 泉 | 屋(住吉町六丁目) | 大坂 | 屋(本町六丁目) |
| 山崎 | 屋(全上) | 鹿島 | 屋(辨天通三丁目) |
| 西村 | 屋(太田町五丁目) | 松坂 | 屋(元濱町三丁目) |
| 津久井 | 屋(本町五丁目) | 小田原 | 屋(尾上町五丁目) |

勝地は稍隔りて名高き金澤の八景、杉田の梅林あり

金澤 は横濱より四里十五町(金澤瀬戸の斷橋迄)武州久良岐郡の東端にあり三面山を負ひ一面海に臨み夏島野島の青螺を含んで房總の翠黛を白帆蜃烟の中に望み畫圖も及ばざる勝地なり明の心越禪師曾つて其風光を愛し八勝を撰びて詩を賦し吉田兼好法師も亦此の地に住して風景を嘆賞せり所謂八景は洲崎の晴嵐、瀬戸の秋月、小泉の夜雨、乙艦の歸帆、稱名寺の晚鐘、平瀨の落鴈、野島の夕照、内川の暮雪にして此八景を一時に眺め得べきの地は金龍院の丘山にある九覽亭と町屋村より東北に方れる丘上にある能見堂なり能見堂は一名擲筆山と呼べり昔し巨勢の金岡眞景を寫さんとして力の及ばざるを歎じ終に筆を松下に擲げたりと言ひ傳へて其松は今猶堂前にあり左に禪師八景詩一二を

記す

十二

瀬戸秋月

心越禪師

清瀬洞々不繫舟、風傳虛籟正中秋、廣寒桂子香飄處、共看氷輪島際浮

稱名寺晚鐘

全

夙昔名藍成覺地、華鐘晚扣若鯨音、幽明聞者咸生悟、一片迷離祇樹木

里程案内 横濱より金澤に至るには根岸杉田富岡等を経て洲崎に出で殆んど四里もあるなれば旅客の都合によりては涼車にて鎌倉に至り鎌倉より朝比奈の切通しを経て此地に出るも好方便ならん鎌倉より金澤までの里程二里十町あり

社寺及橋 社寺は瀬戸明神、瀬戸辨天及稱名寺なり瀬戸明神は

醍醐の勸請に係り瀬戸辨天は政子竹生島の辨天を勸請せしものなりと云ふ橋は瀬戸の斷橋とて文化年間詩佛居士が橋左の酒樓東屋に來遊し四時總宜櫻の號を附けし古事のある爲め自然有名となれり

杉田梅林 は横濱停車場より南の方金澤に至る街道に當れり戸數百二十人口五百計あり第一線路即ち山越路にして停車場より三里十六町第二線路即ち濱路通にして（横濱石川町車橋より杉田行出船あり片道凡六七十錢往復八九十錢なり夫より二の橋より杉田行出船あり往復四十五錢なり）停車場より二里十六町なり

因に云ふ途中森村の内宇大塚の臺と云ふ山は外人の好で來遊する處にして日光、武光、筑波、御嶽、大嶽の諸山は一眸中に入

杉田梅林

十三

り就中英蓉峰の景は尤も奇觀なりと云ふ
 位置 は久良岐郡西南の海岸にありて屏風浦横濱を左とし金澤
 鎌倉を右とし牛頭山、吐月峰を背にし馳水海に面せり屏風浦は
 屏風を立廻したるが如くなるにより名づく建久年間頼朝公此地
 に來遊の時其風光を愛して名けしものとも云ふ瀧頭、磯子、森、
 森中原、杉田の六ヶ村を合して屏風浦と云ひ杉田は即ち其村字
 なり古跡には遠藤山、牛頭山(妙法寺後の山)八幡神社、別當妙
 觀寺、陣屋蹟、妙法寺、東漸寺、牛頭天王社等あり牛頭山には名高
 き神松あり日本武尊東征の際此松を神になぞらへ祈念せられし
 所忽ち風波止みて無事に渡船ありしと云ふ東漸寺には宏覺の偈
 及當時の高僧の唱和したるものを板に鐫りたる詩板あり今左に
 詩板の佳作一二を記す

林 叟 德 瓊

寺在江濱明白鷗、石屏如畫入幽眸、釣船一曲漁歌曉、明月蘆花
 天地秋

無 學 祖 元

千簇雲山踏曉青、嗽輻行盡路方平、携朋喜是三春月、騎馬何嫌
 半日程、庭樹著花兼吐葉、海天如雨却還晴、主人苜蓿盤尤美、慰
 我天涯遠客情

花見案内 開花の期節は寒に入りてより十日を經過すれば早梅
 は稍蕾を破り寒明くれば野梅の早さもの亦開き初む寒明け後二
 十日を經過すれば盛觀の節なり而して梅花の種類多し浪花、薄
 紅梅、種割、青梅、豊後、五郎左衛門等あり又名高き古梅あり照水
 梅は妙法寺内にあり三百年以上を経たるものにて昔は誤りて珠

簾梅と呼び來りしが今群芳譜及妙法寺縁一齋翁の觀記等によりて照水梅に改めしと云ふ養老梅も同寺内にあり同じく三百年以上の老梅なり雙龍梅又同寺内にありて美觀なり其他梅樹の數は三萬六千餘株一年收穫四百石以上あり又此地に名物あり梅花飯と云ふ文化年間村人善惡居士の發明に係るものにて飯製は梅花の萼を去り鹹水に漬け飯に和して之を炊く委しきは佐藤一齋の杉田觀梅記にあり

旅宿は關金造 休憩所は竹田屋、鈴木屋、小泉屋等なり

●程ヶ谷 全 二十哩四十八鎖

戸數九百餘此より四里金澤に達する路あり旅宿は金子屋、新金子、恵比壽屋、沼津屋等なり

●戸塚 全 二十六哩十四鎖

戸數六百鎌倉鶴ヶ岡八幡宮迄二里八町あり旅宿は伊勢屋長兵衛、伊勢彌三郎、鎌倉屋、松屋等なり

●大船 全 二十九哩五十四鎖

横須賀線の分る、所にて横須賀迄十哩鎌倉迄三里鎌倉逗子へ行くものは乗り換ふべし二十町を経て田谷の窟あり

●鎌倉 (距大船停車場二哩七十八鎖)

東鎌倉西鎌倉の二村に分つ戸數千二百八十建久二百年間覇府の在りし所なれば名所古跡の多きと他に比類なし其重なる者は鶴ヶ岡八幡宮、鎌倉宮、頼朝祠、高原神社、鎌倉五山、光明寺、妙本寺、長谷觀音、大佛其他頼朝墓、(三浦一門の亡びし法華堂の山上にあり側らに大江廣元の墓あり)頼朝館跡(鶴ヶ岡の東筋遠橋の北にあり) 畠山重忠、正宗、連慶(彫刻の巨擘)の宅趾、高時一門

の亡びし葛西谷、頼朝像のある補陀寺、安國寺(松ヶ谷にあり日
運上人の安正安國論を書せし所)行合川、新田義貞の北條征伐の
時太刀を海中に投せし稻村崎、鎌倉五名水等なり今著名なるも
のに就き概畧の案内を左に記す

鶴ヶ岡八幡宮は雪の下にあり源頼康康正六年山城岩清水八幡を
勸請して由井ヶ濱に祭り鶴ヶ岡祠と稱し後建久二年頼朝今の
地に遷せしと云ふ静舞殿並に公曉が樹蔭に潜みて實朝を弑せし
銀杏樹等あり例祭は舊曆四月三日八日十五日とす停車場より宮
に至るには二の鳥居一の鳥居を潜り(三の鳥居は由比濱にあり
宮前より真直に濱に至る二二三の鳥居あり故に云ふ)て二町計
りあり委しきことは東鑑、桂林漫録、社寶神記等にあり今左に宮
を詠みし古歌を記す

宮柱ふとしく立て萬代に今どさかへん鎌倉の里 實朝

鶴ヶ岡こたかき松を吹く風の雲井にびくく萬代の聲 基氏

頼朝祠は本社に隣り白旗明神と稱す頼朝の木像を祀る影
向石、鶴龜石等あり

鎌倉の宮は護良親王を祭る社後の山麓に足利直義が親王を幽閉
せし土窟あり

鎌倉五山は建長寺、圓覺寺、壽福寺、淨智寺、淨妙寺にして建長寺
は北條時頼之を建立し圓覺寺は北條時宗の建立に係る二寺共に
山門を宋の寺門に擬して作れり壽福寺は政子夫人の建立にして
淨智寺は尊氏の父貞氏の建立光明寺は北條經時の建立に係る光
明寺の山門天照山三字の額は後花園天皇の宸筆なり
鎌倉五名水は日蓮乞水(名越坂にあり)鏡洗水、梶原太刀洗水、金

水、甘露水の五つなり

旅館 角正樓 丸屋 三ッ橋支店 對鶴樓(以上雪の下にあり) 三ッ橋(長谷村にあり)

又由比濱松林中に海濱院あり扇ヶ谷英勝寺の北に温泉あり質は多量の炭酸を含む宿あり米薪亭と云ふ

参考書としては東鑑 鎌倉草紙、鎌倉寺、鎌倉記、相州風土記大平記、東海道名稱圖繪等あり就ひて見るべし

●逗子 全 五哩三十一鎖

海水浴の流行以來頗る世に顯はる養神亭、日影茶屋等の旅舎あり又逗子の南凡一里許海濱に長者濱と稱する海水浴場あり

●横須賀 全 十哩三鎖

戸數二千五百吾邦第一の軍港にして巨大なる造船場あり驛中

「アダムス」の墓あり(「アダムス」は英人にして徳川家康に用らる)

旅店 三富屋 三浦屋 松坂屋等あり又近在若松海岸に海水浴館あり三富館と云ふ

又此を距る南一里余大津村に海水浴館あり大津村より一里浦賀港に至る此地戸數千八百八十あり

●藤澤 全 三十二哩四十一鎖

江の島鶴沼の見物人は此處より下車すべし戸數九百八十名高さ遊行寺あり寺東一町計に小栗堂あり小栗判官の像照手姫の像及び姫の古鏡古鏡を藏す

鶴沼

藤澤驛停車場より南二拾餘の處にあり海水浴場は汀渚十餘町遠

淺にして波亦た穩なり故に女子の水浴にも適當なり

旅館 待潮館 鶴沼館 東樓 三升樓

江之島

鎌倉停車場より七里ヶ濱を経て西凡二里藤澤より一里半一條の沙路を通じて片瀬に達す巖絶壁の孤島にして島中、邊津、中津與津の三祠あり名高き龍窟は弘法大師の作れる辨財天を安置する四十餘間岐れて二穴となる東の窟に無熱地あり西の窟に日蓮上人の趺坐石あり上人此の石上に坐して冥感を祈り自から法華經を寫して窟の院内に藏むと云ふ又兒ヶ淵とて昔し鶴ヶ岡相承院の白菊と云へる兒童建長寺の自休藏主といふ庵主に戀せられ其情の切なるに困り果て一夜逃れて此處に來り扇面に二首の和歌を認め舟人に托して若し我を尋ぬる者あらば之を見せよ

とて此淵に身を投じ、が自休追跡し來りて其歌を見亦た此淵に沈みしと云ふ

歌は「白菊と忍ぶの里の人間は、想ひ入江の島と答へよ」

「憂きことを思ひ入江の島かげに捨る命は浪のしたくさ」の二首

魚板石は島の西端にあり座して眺望するに宜し

旅店 惠日壽屋 江戸屋 岩本樓 金龜樓 さぬきや 北村屋

堺屋 立花屋

産物は名高き貝細工及鮑なりとす殊に貝細工は實に精緻を極む
○藤澤より江之島に至る途中片瀬と腰越との間に日蓮上人の難に逢ひし龍口寺あり上人の土の牢及首の座石あり

●平塚 全 四十哩三十五鎖

戸數五百餘旅店は笹屋、朝田屋、角屋、松本屋、内河屋とす東三十町を隔て、馬入川あり甲斐山中湖より發す鮎釣の名所なり又平塚より北三里二十町の所に大山町あり夫より登ること十八町にして大山兩降神社あり三重瀧、良辨瀧、新瀧大瀧の諸瀑多し櫻山は大山町の右に聳ゆる好望地にして伊豆屋、駒屋、玉本等の旅宿あり翠浪閣は宏壯にして名高き旅館なり

●大磯 全 四十二哩七十二鎖

戸數一千餘海面上の高六〇呎三二なり明治九年松本順氏此地に遊び潮水の宜しさを證し有志と謀りて濤龍館なる者と新築し其海濱を以つて海水浴場にしてより遊浴漸く増加し竟に今日の如き盛大なるに至れり此地後に高麗、淺間、立野の諸山ありて北風の寒を防ぎ前面は大平洋に臨み寒暖常に中和を得たるによ

り實に療養の好地に適す

海水浴館 濤龍館 松龍館 松林館 大田樓 愛松園等にして

濤龍館二日の宿料五十五錢(晝食共)毎歲十月一日より六月三十

日迄の間は席料特別割を爲し且自賄を許す

普通旋宿は 百足屋 角屋 宮代屋 石井屋

此地亦古跡に富む名高き名妓虎子の池虎子が石は長者林の中にあり昔し鎌倉盛時には歌吹絃舞の繁華地にして詩人騷客の昔忍ばれて詩歌に情を殘せしを以つて其名海内に顯はる今左に村上佛山の詩を記す

霏々瀟々滿天墜、云是名妓於菟淚、於菟曾在大磯里、玉貌華顏
拔於萃、一夜奇緣昵十郎、慵向他人進杯觴、豈圖孤負鴛鴦枕、提
劍去赴復讐場、黃泉報父死何烈、翠閣棄妾恨何滅、富士山下獨

躊躇、涕淚萬行滴不絶、涙能化花竟凋委、涙能染竹有枯時、妾淚
 好作滿天雨、長灑富士山下祠

又停車場の南凡そ三町許の所に嶋立澤あり西行法師奥州へ行脚
 の時此地を過ぎて「心なき身にもあはれはしられけり嶋立澤の
 秋の夕暮」の古歌を殘せし有名の地なり嶋立庵は俳師三千風の
 立てし者にて西行法師の竹杖色紙杯の遺物及び露木虎子が祐成
 に送りたる書狀の殘片を刷りたるもの杯あり。圓位堂は嶋立澤
 の正面にありて西行法師の像を安んず即ち法師が六十四歳の肖
 像にして文覺坊の鈔作りなりと云ふ又虎心堂は其東側にありて
 虎子の像を藏む。小餘綾磯は大磯より酒勾迄の磯邊を言ひしも
 のにて北條氏康の歌に「きのうたちけふこゆるぎの磯の波いそ
 いで行ん夕暮の道」とあり

●國府津 全 四十九哩四鎖

小田原熱海函根地方の分れ路なるにより同地への旅行は當驛に
 て下車すへし即ち小田原へ一里湯本へ三里熱海へ七里あり停車
 場前より小田原函根に至る馬車あり氣車着後凡う十分を以て發
 車す海濱小高き所に親鸞上人一切經を唐土に求め其船の着岸し
 たる唐澤の古跡あり又近傍に曾我里、鞠子川の古跡あり曾我里
 は驛より凡そ十一二町小田原街道小八幡村より凡二十町の北に
 あり曾我兄弟の古蹟を以て名あり鞠子川は酒勾村より小田原の
 方二三町の前きにして梶原が「まり子川ければそ波はたちあが
 りける」と詠みし所なり其他酒勾村にある仙境松濤園(廣七千坪
 にして數棟の貸別荘及び海水浴場の設けあり)停車場に接近す
 る瑞勝園、停車場背後にある蜜柑園等ありて遊覽すべき地甚だ
 多し

旅店 國府津館 蔦屋○待合茶屋には松屋、相摸屋あり又蔦屋は別に海岸唐澤の松林に貸別荘を新設し夏時避暑出養生の人に貸せり

小田原

北條九十五年間の金城にして今は戸數二千百海濱には海水浴場盟館あり産物には名高き梅干、鹽辛、砂糖漬等あり里程は熱海温泉迄七里箱根湯本迄一里半あり

旅店 中松屋 小伊勢屋 片岡永左衛門(皆幸町通りにあり)太閤御陣所は西南凡る十五町の所にあり今猶青松林立して其跡を殘せり○遺了權現社は北三里廿八町の所にあり大天狗小天狗を祭る境内老杉深鬱して頗る幽邃なり

箱根温泉

箱根は東西四里四町余南北五里餘の山間にある十五ヶ村の總稱にして此間處々に温泉湧出して殆ど十一個所に及べり湯本、塔之澤、堂ヶ島、宮之下、底倉、木賀、蘆の湯、小涌谷、湯之花澤、姥子、仙石原是れなり●湯本温泉は小田原より初程の温泉にして七湯の入口にあり箱根群山の東麓早川の南岸にあり東方開豁にして南に垣山石橋山を望み北は塔之峯峻立し西は湯坂山屏立して其麓に湯泉湧出す其色透明にして水晶の如く單純にして少しく鹹味を帶べり聖武帝の天平十年釋淨定の發見したるものなり
旅館 福住樓、小川樓等にして福住は一日一等一圓二等八十錢三等六十五錢四等五十錢五等三十五錢小川は一泊二十五錢以上五十錢迄とす

箱根温泉

近傍の古跡名勝には白地藏、矢立杉、蹟(矢立杉)蹟は曾我兄弟復讐に赴く時表矢を此杉に射立はり後兄弟の母虎女を伴ひて箱根の僧坊へ到らんとて此樹下を過ぎて懐舊の和歌を詠せり兄弟の母「見るからに憂こそ増され足曳の矢立の杉に残る記念を」大磯の虎「つねよりも又ぬれ添ひし袂かなあかぬ別の後の涙に」とよみしとぞ

早雲寺(北條氏綱先考早雲の遺言に従ひ建立したる菩提所にしして有名なる元信の下書早雲の木像並に什寶古書畫數多を藏す請に應じて縦覽を許す)北條五世墳墓、早川尻(早川の下流にて細川幽齋の「みそさせし袖こそ濡るれ老の浪移る月日も早川の瀬に」と詠せし所)紅葉の名勝なる長興山(湯本より東一里にあり)玉垂の瀧等あり各地へ里程

塔之澤	五町	盧之湯迄	二里三十町
堂ヶ島	一里廿町	木賀迄	一里三十町
宮之下	一里廿町	小涌谷迄	二里
底倉迄	一里廿一町	姥子迄	四里廿町
大涌谷迄	三里卅二町	湯之花澤	三里
箱根驛迄	二里廿八町	小田原迄	一里廿三町

塔之澤温泉

湯本より僅に五町早川は此に至りてS形に彎曲し玉の緒千歳の二橋を架し西南は湯坂山城山屹立し東北の間に塔之峰高く聳へ西北は松尾山明星ヶ嶽の山脈連亘し山勢左右より迫り峻巖駢列して宛然屏障を繞らせるか如し此湯一名勝驪湯と稱す明の朱舜水玄宗皇帝が楊貴妃と稷に浴せし驪山に勝れりと稱せしより此

名あり故に此地方の山を勝驪山と云ふ泉質は總て微弱の塩類泉にして透明湯本に同じ

旅館 玉泉樓 玉の湯、環翠樓 一の湯 藤屋 福住樓 (宿料大抵三十錢以上七十錢の間とす)

名勝には霧縷、阿彌陀寺等にして阿彌陀寺のことは羅山文集東行日録嵐雪の堂の澤記に就きて其詳を知るべし嵐雪の向に「つばくらの道ありはらの雨」の句あり

宮之下温泉

塔之澤より西北一里十五町海面を抜くこと千百廿三丈早川の南岸にあり地形稍平坦にして明神ヶ嶽明星ヶ嶽の山脈は川を隔てゝ東北に聳ち駒ヶ嶽、早雲山、出山は遙かに西に駢列して城山、湯坂山に連亘す東方相摸灘を望み眺望七湯中に冠たり

旅館 富士屋 (宿料一日三圓) 初月樓 (洋館二圓五十錢日本館四十錢より一圓迄) 藤元樓 (初月樓と大抵同様)

此地東京の各新聞は其日午前十時半迄に着するを以て甚だ便利なり

各地へ里程

箱根驛迄國道	二里六町	湯本込	一里二十町
蘆之湯迄新道	一里六町	太平臺迄	十六町
木賀迄	十町	小涌谷迄	十五町
湯之花澤迄	一里十四町	乙女峠迄	二里廿五町
大涌谷迄	一里九町	姥子迄	一里廿八町

堂ヶ島温泉

塔之澤より七町計あり此地は窮谷にある故四面丘陵相迫て軒端

を圍繞し宛然楹盆の底の如し東北は早川の對岸に明星ヶ嶽峭立して白糸の瀧其麓に懸り詩家歌人の來つて吟詠するもの多し此地綠樹枝を交へて日光を遮り溪流涼を添へて幽邃なるにより箱根山中此地程清閑なるはなし温泉は大和屋の背後なる宮の下の畦下より湧出す其泉質は單純泉なり

旅宿 近江屋 ● 大和屋 江戸屋の三軒にして一週間一圓五十錢より四圓迄の間にあり盛夏よりは寧ろ春秋の二季繁昌なり

古跡には夢想國師閑居跡(國師は足利直義の師事せし名僧なり)あり大和屋に國師筆跡數葉を藏すれば就ひて見るを得其他調の瀧、白糸の瀧(明星ヶ嶽の麓に懸り直下三十六丈)箱根天然の仙境と稱する松ヶ岡遊園(自然園)明星ヶ嶽(登山の景山中無雙と稱す)

底倉温泉

宮の下の西に隣り其間人家相連なりて蛇骨川の涯畔にあり蛇骨川は元萬年橋の上の方より瀧の狀をなし温泉宿の前なる斷崖二百尺餘の下に流れ來りて末は早川に合す其溪涯處々岩石の間より温泉滾々として湧出するを見る泉質はいづれも弱鹽類泉にして硫氣を含めり神靈湯、萬壽湯、太閤湯、靈仙湯、温潤湯、梅の湯、瀧の湯等の別あり新田義陸此湯に浴せられたれば其以前に早く浴室のありたるものなるべし

温泉宿は梅屋(魁春樓)、葛屋、(涵琴樓)、仙石屋にして一日二十五錢より五六十錢迄の間にあり

國嶺醫院は葛屋の向に設立し病客の望によりて入院治療を許せり其他常泉寺、蛇骨野、太閤石風呂、新田義陸碑等あり蛇骨野よ

りは齒磨の原料を出す（處々鹽質結晶化石あり稱して蛇骨と云ふ）太閤石風呂は太閤小田原征伐の時石風呂を築きて將卒の戦勞を休せられし地にして義陸碑は南朝の遺臣脇屋義治の男新田義陸が金瘡療浴の節死したる忠死を憐みて立てたる碑なり

木賀温泉

底倉より凡九町三面山に包まれ東方の一方稍開け仰では山頭の瀑布を眺め俯ては早川の急流を掬し風景底倉と伯仲す巒きに失火に掛りしを以つて旅宿は伊勢屋、龜屋、仙石屋の三新築軒に過ぎす一日宿料三十錢以上七十五錢なりとす

名勝には見晴茶亭、名高き宮城野蕎麥の名所なる宮城野村ありて共に風景佳絶なり

蘆之湯温泉

宮之下より一里五町小涌谷より二十六町あり小涌谷の七曲を上り池尻（小涌谷より十四町）と云ふ處に休憩所ありて清水の噴出あり渴を慰するに足るうれか十二町登れば蘆の湯に達す又湯本と畑宿を経て登れば凡二里廿八町なれども所謂瀧坂の峻坂あり此地七湯中の最高處にして海面を抜くこと凡二千七百六十尺なり西に駒ヶ嶽、神山等連亘し南に二子山聳へ東に辨天山屹立し四面峰巒圍繞し中部稍平坦なる所に温泉湧出す其泉質は硫黄泉にして他の六湯と全く性分を異にす其色茶褐色特に僕麻質斯、皮膚病、蠱毒、子宮病等に効能ありとて浴客常に絶わす

旅館 松坂樓 紀伊國屋（遊仙閣）二子樓 龜屋の四戸にして宿料一日三十錢より五十錢迄の間あり

勝地には眺望佳絶なる辨天山、穂無平山、底倉温泉の蛇骨川の上

流なる阿字ヶ池、薬師堂跡及び往昔新羅三郎義光伶人豊原時秋に笛の秘曲を傳へし笛塚の舊跡等あり（笛塚は穂無平山の東則ち小涌谷温泉と蘆の湯の村界にあり）

小涌谷温泉

宮之下より十五町七湯以外の新温泉にして多量の硫氣と鐵分を含めり明治十一年横濱の榎本猪三郎等始めて此地を開鑿せり
旅宿 三河屋（鳳來樓）開化亭

●大涌谷温泉は一名大地獄と稱す小涌谷より四五町硫烟噴騰熱湯沸湧す頗る奇觀なり

千條の瀧は蛇骨川上流の涯凡十五間の壁絶に懸り其狀恰も千條の白絲を懸くるが如し

湯之花澤温泉

新温泉にして蘆之湯より八町あり單純の硫黄泉にして湧出の量極めて多し旅宿は花の湯雨宮ゑいの一戸あり

姥子温泉

木賀より宮城野仙石原を経て一里二十町同く二の平より大地獄山の嶮道を経て一里十五町此地より十二町ある湖尻ウミジロより箱根驛に往復する小蒸氣船あり賃金は一人三四十錢なり
旅宿 高瀬道正

仙石原温泉

上湯場下湯場の二ヶ所あり宮城野村より下湯場迄凡十八町又下湯場より上湯場迄凡五町夫より仙石原の本村迄廿九町温泉は大涌谷より篋を以て引き來り湯槽に湛ゆるなり乙女峠を経て富士山に登る道あり此温泉農民の餘暇浴し來るのみ

元箱根村

蘆の湯を距ること凡二十七八町計其間曾我兄弟墓、二十五菩薩、多田満仲墓、精進ヶ池、石地藏、御状石(頼朝遊歴途次書簡を披閱せし石) 二子茶屋等あり此村戸數四十橋本屋辻屋の二旅舎あり村より湖岸に浴ひて行く七町箱根神社あり天平寶字年間の建立に係る曾我兄弟が祐經を討ちたる微塵丸薄緑の太刀等の什寶あり是より湖尻に至る一里半

箱根驛

箱根驛は古繁華なる驛路なりしが今は寂寥となり唯内外人の避暑に來るものあるのみ湯本畑宿を経て二里廿八町蘆の湯より一里六町

旅宿 土生屋哲三 石田ふく 山本屋 遠州屋 大村屋 橋屋

辻屋等

蘆之湖

蘆之湖は東西二十町南北一里十三町周回四里余深四十六仞其水溢れて早川となる湖中に一の半島あり塔ヶ島と云ふ今箱根離宮のある所なり名高き箱根の倒富士ありて風景畫圖の如し猶箱根山中の委きことは箱根七湯誌、箱根鑛泉誌等に就ひて見るべし

熱海温泉

熱海は小田原より凡七里地位は豆州賀茂郡の東岸にあり三方山を環らし東一面は海に瀕して半月形の灣をなす左を横磯と云ひ右を魚見崎と云ふ前面に初島の一嶼を含んで風景殊に趣きを添ゆ山海の幽澗雨から備はるを以つて奇景名勝少からず所謂熱海八景なる者古來詩家歌人の吟咏して嘆賞せし者なり八景とは梅

熱海温泉

園の春曉、來宮の杜鵑、温泉寺の古松、横磯の晚涼、初島の漁火、錦浦の秋月、魚見崎の歸帆、利田山の暮雪にして就中奇景なるは錦浦とす(熱海の南念佛山の麓の海岸)狗寶、胎内寶、錦巖等の奇巖あり又社寺多く湯前神社、和田八幡、興禪寺、海藏寺、大乘寺等あり浴舎は一等より六等まであり左に重なるものを記す

富士屋(本町) 古屋(東町) 相摸屋(上町) 高砂屋(坂町) 眞誠舎(坂町) 山田屋(本町) 氣象萬千樓(中町) 鱗屋(中町) 大光館(上町) 隱居玉屋(濱町) 鈴木屋(上町) 坂口屋(本町) 新鈴木屋(本町) 小林屋(横町) 新玉屋 つゆき(横町) 野むら 尾張屋(中町) 中玉屋(濱町) 産物は寄木細工、熱海焼、雁皮紙等なりとす

●伊豆山温泉 は熱田より小田原に至る街道にあり山上に伊豆

神社あり其西北に古々井の森あり右大臣顯光郷が「こゝにだにつれく」となく郭公まして古々井の森はいかにぞ」の歌ありし所なり浴舎は相摸屋、江島屋等なりとす

●松田 全 五十五哩三十鎖

戸數三百六十此より線路急勾配にして御殿場に至るには四十分の一傾斜線なるを以つて瀛車の駛ること緩なり線路の酒勾河を渡ること都て十四回なり

●山北 (全五十八哩七十五鎖) ●小山 (六十四哩三十七鎖)

●御殿場 全 七十一哩十三鎖

海面より一千四百九十八尺本道中の最高處にして富士登山者の支度する所なり

旅店の富士屋、近江屋、蛭子屋、玉川樓にして料理店には奈壽屋、西川、吉村、鈴木亭、万盛樓の五亭あり

此地より富士山に登るには一合目迄三里八町（馬車人力車を通ず）一合目より頂上まで五里弱（十合目迄あり）五合目以上に至れば一の草木なく六七合目に至れば砂愈深く九合目より頂上に至るには殊に峻嶒なり頂上には本宮及び舊噴火坑あり最高峯剣ヶ峯に登れば白山琵琶湖等を望み得べしと云ふ（晴天の日）降りたりは迂り草鞋なる者を二重三重に穿ち杖を突きて八合目より迂り下る一合目まで二時間にて降る故に御殿場を午前三時に出發すれば頂上にて緩々休憩の後ち午後六時迄に御殿場に歸着し得べし又御殿場より剛力（案内者）を雇へば日返り三十錢一泊五十錢にして一人五客の案内をなす荷物は三貫五百目を限りて携帶す

頂上に登るに随ひ呼吸せはしくして眩暈を生ずる事あり斯る時は「ブランデー」少量を服用し且成るべく俯視して歩行するを善しとす其他登山者は案内者等に充分の注意を聞きて上るべし猶富士山の登り口は大宮口、須山口、須走口、吉田口、人穴口の五道あり

●佐野 全 八十哩四十八鎖

戸數三百四十停車場より西北十五町に佐野瀑園あり五條の瀑布あるか爲め有名なり雪解の瀧、富士見の瀑、月見の瀑、銚子の瀧、挾衣の瀧遠く之を望めば五頭白龍將さに天に昇らんとするもの、如し園内の旅館を五龍館と云ふ宿料一日四十錢より七十五錢又園外の山林二千町歩を以つて遊獵地となせり佐野八景は景ヶ島の秋月、桃園の櫻花、定輪寺の晚鐘、屏風岩の鴛鴦、榮橋の流

登、平松の夜雨、千福の青田、古城の暮雪にて皆近傍にあり

沼津 全 八十六哩四十二鎖

戸數一千九百餘海濱を千本濱と云ふ青松白砂相映して風光明媚なり汀渚は波穩にして水清く海水浴に適當とす又沼津城跡は條内にあり

旅宿 杉本屋(本町) 虎屋(全町) 元問屋(全上) 桔梗屋(全上) 山本屋(條内)

此地近傍海水浴場多し我入道海水浴は西南二十五町を隔つ前は狩野川に枕み後には山を負ひ西北には千本松原を隔て、田子の浦芙蓉峯を望み真に風光佳絶の地なり浴館あり松風館と云ふ夫より三町を隔て、牛臥海水浴あり眺望絶佳にして岬角に奇巖高島岩あり浴場あり三島館と云ふ○戸田海水浴は戸田港の入口御

濱にあり松崎下田の間を往復する漁船に乗れば海上四里(漁船賃十二錢)にして達す浴館あり保養館と云ふ三保の松原と相對し北に富士を望み西南に御前崎を眺め好風景の地なり

修善寺温泉

東海よりの旅客は國府津熱海を過ぎ熱海峠を越えて此地に來るが道順なれども汽車の便に據らんとすれば沼津にて下車するを善しとす沼津より六里十町湯の重なるものを獨鈷どくこの湯、河原湯、真湯、石湯、杉の湯、箱湯、珍の湯とす就中獨鈷の湯は桂川の中央巖石の間より噴出し河水と混じて適宜の温度となり茲に浴槽と雨覆とを設けて浴客を入る河中に於て温浴をなし得るは修善寺の外未だ之あるを聞かず亦一奇觀なり泉質は多量の鹽分を含み胃加答兒、腸加答兒、肺炎、子宮病、痛風、疝氣等に宜しく重

なる温泉宿は

一等温泉宿 菊屋 養氣館 對碧樓

二等温泉宿 衛生館 柳屋 江戸屋

三等温泉宿 野田屋 柏屋 水月樓 四方樓

等の十軒にして外に中田屋、橋本屋の通常旅店あり菊屋、養氣館の宿料上等五十錢中等三十五錢下等二十錢なり

修善寺は僧空海の開基にして寺内尼將軍跋高麗版の法華經一卷、北條早雲并豐太閤の御教書等はわざ／＼一見するの價あり

三島

箱根沼津中間の驛にして戸數千五百西二十町に八幡の祠あり治承四年頼朝こゝに出陣の砌奥州より義經を召して對面したる地なりとて今猶頼朝の御座石なるものあり

旅舎 相摸屋 世古六太夫 竈屋

三島神社は官幣大社にして本道中熱田神社に亞ぐの大社なり
原

沼津の西一里廿七町戸數七百三十古へは浮島ヶ原と稱す東海道中富嶽の眺めに富みたるは實に此原驛と富士川との間にあり浮島沼は一名富士沼と云ふ原驛の西凡一里富士八湖の一なり

● 鈴川 全 九十六哩三鎖

沿道中最も富士に近接せり眞に緑色目睫に逼れり元吉原の西部にありて此處より街道左右に分岐し右を舊道とし左を新道とす舊道よりすれば西北廿八町にして吉原町に至る猶三里餘にして大宮に至る此間鐵道馬車の設けあり又停車場の南妙法寺は聖徳太子自作の毘沙門天を安置せり

田子の浦は方角抄を閲するに三保の入江より浮島ヶ原傳ひの浦を
をしなべて田子の浦云々とあり即田子浦元吉原村に亘る南端の
總稱なり古來詩歌多し勝地なること本道第一たり今左に二三の
詩歌を載す

田子のあまの宿まで埋むふじの根の雪もひとつに冬は來にけ
り

信實朝臣

白波の見る目をそへて植へわたす早苗になびく田子の浦波

雅成卿

焦思臨寵爨空烟、世路艱難最堪憐、坐愛風光多子蟹、月明潮汲

月明還

澤庵和尚

大宮

富士表口に當れる小驛にして鈴川より吉原を経て西北四里弱の

所にあり戸數千四百富士山頂まで七里

●岩淵 全 百〇一哩二十一鎖

富士川の西岸なり甲州身延山は此より北凡十里なり谷屋萬屋等
の旅舎あり

富士川は日本三急流の一にして屏風岩、俵石、釣橋等の奇觀あり
身延山は日蓮宗總本山なる久遠寺のある所にして升屋、田中屋、
玉屋、梅屋等の旅舎あり

●蒲原 全 百〇四哩二十八鎖

岩淵の西一里廿五町驛中淨瑠璃姫の墓あり旅店は柏屋、谷屋等
なり

●興津 全 百十哩二十八鎖

興津は七ヶ村を合して戸數一千名物は鯛、海苔、關西より甲州身

延山に詣でんとするものは此地にて下車すべし其道程十三里海濱を清見瀉と云ふ名高き清見寺は停車場を去る西の方七八町の處にあり足利尊氏自作の像は客殿にあり其他清見ヶ關の床板を其儘に天井板に用ひし一室あり庭園には九曲泉、牛石、龜虎石及家康手植の臥龍梅等古蹟の存するもの甚だ多し境内は三保の松原を眼下に望み清水港は宛も庭中の一池泉に異ならず眞に風光明媚の幽寺なり

清見海水浴は停車場より七町古清見關の古跡なり東は田子の浦に枕み西は三保松原清水港及久能山を眺め北は愛鷹山を隔て、八朶の芙蓉を仰瞻す其勝景實に旅愁を忘るゝに足る光行が歌に「清見瀉關とはしらで行人も心ばかりいと、いめをくらん」又本寺十一世の關振和尚の選びし清見寺十境あり十境とは即ち清音關

(山門)將軍石(在山峯)清淨觀、分境亭(在山嶺)三保、利生塔(在客殿西)田子浦、袖子浦、九曲泉、巖腰亭(觀音堂名)

浴館 海水樓 一碧樓 身延樓 佐野屋等

●江尻 全 百十三哩五十六鎖

戸數九百七十南十五町に清水港あり駿河第一の港にして戸數九百八十あり江尻の旅店は京屋、新井屋等なり
久能山は停車場より西南二里餘有渡郡の海濱に孤立する一山なり千手觀世音を安置す元和二年徳川家康を葬りたる所なり
三保の松原は有渡郡の東端に斗出する長洲一帶にて清水港より海上僅かに十余町に過ぎず青松白砂點綴して海山の風景相映じ宛も美人亂舞の俤あり戸數七百余あり後鳥羽院の歌に「清見瀉ふじの煙や消へぬらん月影みがく三保の浦松」藤原冬隆朝臣の

歌に「清見瀉藏山寺は暮初めて入日残れる三保の松原」の古歌あり松林中に御穂神社あり大己貴神及其妃三穗津媛命を祭る社の東南五六町計に一老松あり幹の高さ凡九丈餘樹下羽衣松の一碑あり夫の漁翁伯良の爲めに秘曲を演じたる天女が羽衣を掛し松なりと傳ふれども具原益軒の吾孀記には大己貴命天の羽車に乗りて妻を求め玉ふとさのこを附會して訛り傳へたるならんとあり能因法師の歌に「有渡濱に天の羽衣昔しきて振けん袖やけふのはふり子」とあり

●静岡・同 百二十哩三十一鎖

昔し府中と稱せし地なり戸數七千七百余
旅店の重なるもの

大東館(紺屋町) 袋屋(吳服町三丁目) 清鶴樓(榮町) 安田屋

(静岡宿) 機陽館(榮町) 品川屋(紺屋町)

其他傳馬町には普通の旅店櫛比し藤屋、上藤屋等有名なり二長町は妓樓軒を並べり産物は賤機織、竹細工、寄木細工、茶、紙、推茸等なり

淺間神社は美觀日光に次ぐ崇神天皇御宇の建立にして境内を公園となせり停車場より十五町

其他今川義元の建立に係る臨濟寺(義元の畫像を藏す)寶臺院等あり

●焼津 全 百二十八哩三十四鎖

戸數千五百餘日本武尊の叢雲の劔を振ひて賊難を免かれし地にして秋月樓と云へる海水浴あり

●藤枝 全 百三十二哩四十鎖

戸數一千四百余旅店は越前屋(上傳馬町) 魚安(下傳馬町) 柿屋(鍛冶吹町) 魚屋(鍛冶吹町) 等あり此より二十三町に志太鑛泉あり潮生館と云ふ旅館あり鑛泉は多少の硫黄質を含み脚氣子宮病等に効能ありと云ふ

●島田 全 百三十七哩十五鎖

戸數二千余旅店は中島屋、白木屋等あり

大井川は水源を甲斐信濃の界白峰より發し延長四十六里本道中天龍川に亞ぐの大河なり

●金谷 全 百四十哩四十四鎖

戸數一千百余五和村鑛泉は北廿五町にあり旅舎を潮月館と云ふ泉質は冷泉にして多量の塩分を含み脚氣、痺麻室斯、腹痛、胃弱、等に効驗ありと云ふ

小夜の中山は金谷より日坂に越ゆる小嶺の名にして夜泣石夜泣松、姪婦の塚、日坂より東二十町許りの街道の傍らにあり

●堀の内 全 百四十六哩十八鎖

●掛川 全 百五十哩四十八鎖

戸數一千三百驛の北端に今川氏眞の籠りし城趾あり
旅店 藤屋 常盤屋 松本屋 松田久三郎等とす

秋葉山は掛川より十里五十町養老二年行基大師の建立に係る歸路は阪下より西して天龍川の岸に出で川舟に乗りて流れを下れば三時間余にして池田村に達し三十町にして中泉停車場に至るを得べし山路鳳來寺に至る途中には阿寺の七瀧あり

●袋井 全 百五十六哩四鎖

●中泉 全 百六十哩七十三鎖

戸數六百五十旅店は石橋、村田、井澤屋、鈴木等なり西濱松に至る中央一里半計に天龍川あり諏訪湖より發し延長六十里あり

●濱松 全 百六十七哩六十六鎖

戸數二千七百北端に濱松城跡あり其他五社神社半僧坊の出張所等あり此地より秋葉山詣での路あり十里廿一町あり

旅店 大米屋 花屋等(一泊各二十五錢以上五十錢迄とす)

三方ヶ原は濱松の北一里余の所にあり東西三里南北二里の原野にして武田信玄の敵兵に敗られし古戰場なり又萬葉集に「引馬野に匂ふ榛原はらばら入亂れ衣に波はせ旅のしるしに」の歌あり引馬野は昔の名なりしと云ふ

西北四里に後醍醐帝の皇子宗良親王を祭れる井伊谷神社及び此より西一里半に十勝の名ある奥山半僧坊等あり

●舞阪停車場 全 百七十四里十九鎖

戸數三百八十濱名湖今切の東岸にあり

濱名湖は東西二里餘南北二里廿五町舊猪牙湖と呼び東海道有名の勝地なり往時の雨に流るゝ河なりしも海嘯の爲め内海に變じたり湖中の鰻は頗る美味なり

●鷺津停車場 全 百七十九哩七十七鎖

濱名湖の西岸にあり戸數百五十湖景の遠望絶佳にして眞に東海道琵琶湖とも云ふべし

●豊橋 全 百九十哩三十三鎖

戸數二千九百東北に第三師團歩兵第十八聯隊の營所あり

旅宿 小島屋(札木町) 相模屋(舟町) つば屋(舟町) 米善(本町) 産物は名高き煙火の製造、名倉砥等なり

名高き豊川稻荷は停車場の東北二里豊川村にあり大岩観音は豊橋の東一里十五町大岩村にあり龜見山窟堂いほやと號し僧行基作の千手觀音を安置す

●御油 全 百九十五哩五十二鎖

戸數三百余北一里餘牛窪村に山本勘介居宅の跡ありて今は田園となれり

●蒲郡 全 二百〇一哩一鎖

戸數六百五十あり四五町を行けば健碧館海月樓の海水浴館あり竹島大島小島の小島前に横はりて風景佳絶なり

●岡崎 全 二百十哩二十三鎖

徳川氏の起りたる地にて城跡は公園となり園内東照宮を祭る傍らに生湯うまゆの井あり家康公當城にて誕生の折生湯の水を汲みし井

なりと云ふ戸數は四千計りあり

旅宿 かぎ屋(傳馬町) 山田屋(同上) 桔梗屋(同上) 丸藤(龍田町)

矢矧川は美濃惠那郡阿賀瀧山に發し岡崎の西を過ぎ前濱新田に至りて海に入る橋の西畔矢作村の田中に竹林あり古へ矢矧の長者が住ひし宅趾なりと言傳ふ又淨瑠璃姫の此長者の女にして義經を慕ひて陸奥に赴かんとし蒲原驛に至りて死せりと云へり大樹寺は北三十町の處にありて瀧山寺は西北一里十町瀧村にあり其仁王門は飛彈の内匠の造る所なりと云ふ

●安城 全 二百十五哩十八鎖

●荊谷 全 二百二十哩十五鎖

安城は戸數五千四百ありて荊谷は戸數四百七十名産を白魚とす

一里餘にして知立あり戸數六百餘東二十町計八ッ橋古跡あり業平の燕子花を詠めし地あり

●大府 全 二百二十三哩十四鎖

武豊線路の分るゝ所龜崎半田武豊に行くには下車すべし戸數は二百七十あり

●龜崎

衣ヶ浦に瀕する小港灣にして戸數一千六百釀酒を以つて名高く旅店は中口屋其他の數軒あり

●半田 距大府 九哩四鎖

戸數一千一百餘戸横濱に來往する定期航海船あり名産は酢にして清酒亦た宜し

旅人宿 新文亭 瀧利等

大野海水浴は里程三里六町知多郡の西部海岸にありて遙かに四日市と相對し戸數四百三十餘あり長興専齋後藤新平効驗あることを證明せしより益繁盛に赴き夏日浴客の夥しきは大磯と伯仲するに至れり

旅館 恩波樓 海濱樓 和泉屋 信濃屋 兩角

割烹店 茶松 桶文 金谷園

南一里には有名なる陶器製造地なる常滑町あり又名古屋より大野に至るには熱田より汽船に乗るべし里程五里賃金は上等三十錢中等二十錢下等十三錢なり

●武豊 全 十二哩五十四鎖

半田より南一里餘の處にあり戸數七百町の後山を鳳翔山と云ふ山上に養生館あり保療及び避暑に充つ南四里半の所に師崎あり

良港にして海水浴館あり養春館と云ふ又師崎の西一里許に豊濱海水浴あり熱田より海上十四里を隔て、日々便船あり旅店は大西屋、梅屋の二軒にして宿料は一泊二十錢一ヶ月滞在三圓五十錢以上なりとす

右は大府武豊間支線を記したるものにして是より再び東海道幹線に戻る

●大高 距新橋停車場 二百二十七哩五十鎖

戸數六百野菜は大高菜として其名高し村の東北八町に今川義元合戦の時櫛籠りし鷺津城趾あり又西十町を隔て、鳴海町あり昔しは鳴海瀉と稱し太田道灌が「遠くなり近く鳴海の濱千鳥」と詠みし所なり戸數一千百九十名産鳴海絞は多く隣村有松にて製す

桶狭間古戦場は有松驛より南に折れ十二三町の處にあり大高停車場より一里二十町織田信長の今川元義を亡ぼせし古戦場にして猶今草繁き荒涼たる中に義元の墓あり

●熱田 全 二百三十一哩九鎖

名古屋市の町續きにして戸數四千二百あり四日市、桑名、津、神社港、鳥羽港等を往復する汽船一日數回發着す四日市迄海路十里又海濱には名高き魚市場あり其他熱田神社白鳥の御陵は世人の知る所なり

旅店 岡田屋 紀伊國屋 伊勢屋 桔梗屋 大森升屋 神戸屋 (以上神戸町にあり)

●名古屋市 全 二百三十五哩二十八鎖

名古屋は戸數四万八千四百人口十七万三千六百東西一里三町南

名古屋市

北一里五町古へ波越又は那古野と稱す名高き大須觀音、東照宮、若宮神社、建中萬松寺、法華寺、等神社佛閣甚だ多し其他西北には名古屋城(停車場より十五町天主閣上に名高き金鯨あり)正北四里には家康秀吉と戦ひし小牧山又西一里にして有名なる秀吉出生地上中村にある豊國神社(昔しは同村常行寺地内に大閻堂を設け堂中に秀吉の肖像を安置せしが近年社殿を立つるに至る又同村清正公靈殿ありて其西に今猶は清正の舊宅趾なるものを存す)西方二里十町に紫色の觀音ある甚目寺其他甚目寺より西二里三十町にある津島町の津島神社等あり二社共に堂宇壯麗にして賽人常に絶えず殊に津島神社舊歴六月十五日の例祭には雜鬧甚し津島町には山田屋、三好屋等の旅宿あり名古屋市の旅館の重なるもの左の如し

秋 琴 樓(榮町三丁目)

さん か(伏見町二丁目)

丸 文(上園町二丁目)

し な 忠(宮澤町)

鶴 鳴 館(門前町三丁目)

松 宗(榮町三丁目)

山 田 屋(榮町四丁目)

丸 屋(本町八丁目)

た は ら(富澤町三丁目)

信 忠 支 店(停車場前)

其他割烹店には秋琴樓、得月樓、河文、魚半等數多あり遊廓旭廳は花園町にありて梅本、三朝、金波、壽、清々の樓を主とす産物は七寶燒、名古屋扇、一閑張、佐々飛白、袴地等なり

●清洲 全 二百三十九哩六十七鎖

慶長年間尾張第一の城市なりしが今は戸數僅かに三百九十

●一ノ宮 全 二百四十五哩七十鎖

戸數二千二百五十名古屋の東五哩十餘町にあり毎月三八の日古

衣市あり中央に一の神社あり眞清田神社と稱す旅宿は油屋、泉屋等なり

●木曾川 全 二百四十九哩三十三鎖

黒田村にあり戸數八百四十黒田村より三十町にして木曾川あり信濃の木曾山中發し桑名に至りて海に入る延長五十五里又黒田村より東四重に犬山町あり戸數一千三百町の北端に犬山城あり秀吉の據りて家康と對陣せし舊城趾なり

●岐阜 全 二百五十四哩十五鎖

稻葉山の西麓長良川の南岸に位し戸數五千四百あり明治廿四年の大震に全市一變せり金華山(稻葉山のこと)長良川の鵜飼等皆遊覽するに足る鵜漁は毎歲五月上旬より十月中旬迄の間之を行ふ奇觀を見んとて來觀者甚だ多し一舟見物費用は一人割大抵

(肴三四種を添へて)六七十錢猶詳細の記は三浦千春氏の「美濃奇觀」にあり又稻葉山の南麓には名高き篠谷の梅林あり

●大垣 全 二百六十二哩七十一鎖

戸數三千九百西北端に舊居城あり今は公園となる僅に石垣及び天主閣を存す大垣より楫斐川を下りて勢州桑名に至る川船毎朝七時より九時迄の間に出船し翌曉天迄に桑名に着す其賃金上等一室借切九十錢下等乗込一人十二錢なり

旅店 安田屋(俵町) 京丸屋(東船町) 玉屋(廓町) 本陣(竹島町) 養老瀧は西南三里途中高田村を経て山麓迄人力車を通す大抵二十五六錢高さ九十二尺幅九尺秋に至れば楓樹錦を敷く養老神社は瀧方五六町の所にあり連歌師紹巴秀吉の命を受けて造りし謠曲本を藏す神社が二町登れば偕樂園あり公園となす櫻楓

相交へて一個の仙境たり豆馬亭、搦水樓等の料理兼の旅館あり

●垂井 全 二百六十六哩七十四鎖

戸數三百八十垂井清水は玉泉寺の前にあり南十二町宮代村に南宮神社あり樹木鬱蒼して幽邃の地なり

垂井より養老瀧へ至る路あり里程二里餘路嶮惡なり

●關ヶ原 全 二百七十哩二十九鎖

戸數四百二十有名古戰場にして不破關の舊跡は松尾と藤下の間にあり原北二里の外に屹立せるは伊吹山にして後拾遺集實方の「かくとだにえやは伊吹のさしもぐさ」云々の歌あり古へ蓬を産し又黄鳥、郭公の名所とす又寐物語の里は西一里半にあり

●長岡 (全二百七十六哩五十七鎖)

●米原 (全二百八十三哩三十一鎖)

戸數八百東に磨針嶺の山脈を負ひ西は一面に琵琶湖に臨めり東海道幹線より越前福井に至る支線の分るゝ所なり依つて左に支線驛の概略並に琵琶湖の概略を記す

○長濱は戸數二千四百餘米原より三哩三十鎖城趾は町の西湖畔にあり八幡宮大通寺等見るべきもの多し湖上漁船の要港にして大津と連絡す膽吹山は美濃の境にありて日本武尊の毒霧に中りたまひし名高き山なり妙川は北高月に至る中間にありて織田信長の淺井長政と戦ひし有名なる古戰場なり産物は濱縮緬にして旅宿は古榭と云ふ停車場前にあり

●高月 (米原より八哩五鎖)

●井の口 (全十哩七十八釐)

木の本 名高き賤ヶ岳は西北半里程にあり其に麓に余吾湖あり

周回一里二十八町米原より此地まで十二哩五十一鎖

●中の郷 (全十五哩四十二鎖)

●柳ヶ瀬 (全十八哩三十五鎖)

●疋田 (全二十五哩七十三鎖)

敦賀 人口三千餘立石崎より灣入すること六里灣内幅一海里乃至三海里あり武田耕雲齋等諸士の墳墓は市の西半里程の松林中にあり名高き氣比神社は市の東端にあり加賀金岩、若狹小濱、丹後舞鶴港へ毎日出發の汽船ありて百貨輻輳せり●金ヶ崎は敦賀と相接し各旅店は停車場前に多し大里屋、米市屋等を主とす是より東北六里を経て今庄に達し今庄より四里を経て武生に至る(日本里數を以て云ふ)

武生 は人口一万以上南條郡役所あり日野川東を流れ日野山東

南に連なる古へ府中と云ひし地にして市街に國分寺あり産物は鎌等の打物黒流染等なり是より東北一里半にして鯖江に至る鯖江より福井迄三里半

福井 は古へ北の庄と稱へ柴田勝家の築きし城にして市の中央にあり戸數一万餘足羽神社招魂社等見るべきもの多し産物は名高き奉書紬なり福井より加賀金澤迄二十一里(日本里數を以て云ふ)

琵琶湖

琵琶湖 はニホノウミ(鵜鶘多く游泳するを以て鵜の海と云ふ)と云ふ東西五里廿七町南北十六里十三町昔し孝靈天皇御世一夜にして開け同時に富士山を湧出すと湖中には奥、沖、多景、竹生の四島あり湖中鯉鮒鮒を最とす鮒は源五郎又紅葉鮒と稱するも

のありて其名高し所謂近江八景とは

石山秋月、勢田長橋、粟津晴嵐、矢橋歸帆、三井寺晚鐘、唐崎松、
堅田落雁、比良暮雪

此の八景撰びは慶長年間近衛信尹のよた公始めて膳所城の爲め撰ばれしものなりと云ふ八景は各停車場驛に附して記すべければ茲には湖中四島のことを記す

奥島は湖中最大の島にして島中に六ヶ村あり島の北端を伊崎とし不動堂あり西角を長命寺とす觀世音を祀る近く沖島と相對す沖の島は奥島の北五十町にあり周廻凡一里村あり沖の島村と名け七十餘戸あり

多景島は彦根より凡壹里半湖上にあり見塔寺と稱する一小刹あり周回僅に五町

竹生島は琵琶湖の極北にあり周回十八町餘岸の深さ百尋秀巖怒突老樹倒懸幽邃の仙寰たり島上に都久布須摩神社あり又辨財天の祠及び觀世音の堂あり

●彦根 距新橋停車場 (二百八十八哩)

戸數三千五百五十餘井伊氏の舊城趾にして犬上郡役所あり城趾は金龜山と稱する丘上にあり今は一部公園となり樂々園と云ふ舊藩主の別業にして正殿、大廣間、瀧見、楓等の諸室に分ち頗る壯麗を盡せしものなりしと云ふ又金龜山に登れば湖上の風色一眸の中にありて佳絶云はん方なし多景島近く湖上里餘の烟波中に見ゆ又神社古趾多し清涼寺(井伊氏の香花院)千代の宮、大洞辨財天、井伊神社、瀧寺佐和山神社、天寧寺、佐和山城趾(彦根城の北古澤村にあり皆道甚だ遠からず一遊すべき地なり) 其他彦

根の東南凡ろ二里多賀村に多賀神社あり伊弉諾、伊弉冊尊を祭る境内より彦根町及琵琶湖上を遠望し得へし
旅店 樂々園(公園内) 鎗屋(本町)松屋(停車場前) 大和屋(職人町)

産物は林檎、紅、燕なり

●能登川 全 (二百九十六哩五十三鎖)

戸數百五十村は停車場より十町許りの處にあり

●八幡 全 (三百哩三鎖)

戸數一千五百餘蒲生郡役所あり此地は江州豪家の聚まる所にして商業盛なり又八幡蚊屋として此地の名産なり八幡神社は町の端にあり堂宇壯麗なり豊臣秀次の城趾は其後の山上にあり
長命寺 は西北一里十五町松ヶ崎の端にあり八幡濱字南津田の

湖岸より小舟に乗じて寺下に達すべし船賃は二十錢なり此寺より湖上を眺望するに沖の島の風景手に取るが如し

●野洲 全 (三百〇七哩七十八鎖)

戸數百八十東南一里餘に三上山あり近江富士と云ふ野洲川鐵橋より之を望むを得

●草津 全 (三百十二哩五十三鎖)

東海關西兩道の分るゝ所戸數千六百三十粟太郡役所あり名物姥ヶ餅は今猶あり

旅店 伊勢屋 蔦屋

矢橋 は八景の一にして西一里程にあり晚帆霞にこめられて歸るさまいと美景なり故に八景の中に入る大津通ひの汽船日々數回發着す又玉川古跡は草津より西南十五町許野路村にあり千載

集に頼朝朝臣が「明日もこん野路の玉川菘こけて色ある波の月宿りけり」と詠みしより其名高し

●馬場 全 (三百十九哩十六鎖)

大津町の爲めに設けたる停車場にして大津迄僅に二十町戸數百十あり○膳所は馬場の東三町餘にあり古より日吉神社の神饌を此地より供せしより膳所の名出でたり村内字別保に木曾義仲の戦死せし義仲寺あり義仲の墳に並びて芭蕉翁の墓あり傍の堂に翁の木像を安置す

粟津ヶ原 は膳所より勢田橋本に至る街道松原を云ふ八景の一にして義仲の源義經範頼と戦ひたる有名の古戰場なり義仲の名臣今井兼平(義仲の妾巴の兄)亦茲に誅戮せられ墓は松原より西北三町計りの田野中にあり此地翠松一帯道を挟み清漪軽く岸を

打ち晴嵐掬するに堪へたり其好景は左の詩歌を見て知るべし

雲はらふ嵐につきて百船も千船も浪の粟津にぞよる

藤原 信尹

粟津物景翠微連、漾々峨々乍霽前、唯見江東雲不渡、嵐光水色

共一天

林 羅 山

瀬田長橋 は瀬田川に架せる橋にして昔田原藤太秀郷橋を過ぎる時大蜈蚣あり三上山を圍繞すること七卷半首を橋畔に出す秀郷射て之を斃すと八景の一にして風景の好きこと左の歌を見て知るべし瀬田川は琵琶湖の下流にして山城に入り宇治川となる

露時雨もる山遠くすぎ來つゝ夕日のわたる勢田の長橋

藤原 信尹

五月雨にかくれぬものや瀬田の橋

芭

蕉

石山寺 は亦八景の一にして怪岩奇石名状すべからず東に瀬田川を一瞰し山寺の幽濠真に仙境の如し勢田橋より南一町計り眞言宗にして天平勝寶元年(凡千百五十年前)僧良辨の開基なり堂内に源氏の間と名くる一室あり紫式部源氏物語を書たる所なりと云ふ式部遺愛の硯今猶什寶となる観音堂より稍上れば式部塔、經藏、頼朝塔等あり寶塔の東に月見堂あり秋霽觀月の處とす瀬戸夕照矢橋歸帆眉睫の間に映じ眺望頗る佳なり夏は亦螢の名にして來觀者甚た多し

石山や鳩の海こる月影は明石も須摩もはかならぬかは

藤原信尹

怪岩奇石入緇園、楓樹風寒秋色翻、不讓洞庭千古月、影瀨湖水

上山門

林羅山

大津

戸數五千七百京都三條橋を距る二里三十四町滋賀縣廳の所在地なり後は逢坂山を負ひ前は琵琶湖に臨む湖上漁船は彦根を経て長濱へ勝野、船木、今津を経て塩津へ毎日一回堅田長命寺を経て能登川長樂寺へ一日二回の出帆あり又西京に至る疏水引舟便あり水道は三保崎より三井寺の麓を堀割り逢坂山の北を貫きて山科に出で更に迂回して日岡山を貫通し京都市の東に於て高瀬川と合し更に堀川に南流せしむ

旅店 玉川作次郎(御藏町) 松阪屋(川口) 中村樓(御藏町)

竹内定吉(三井寺下)

三井寺 は八景の一にして園城寺と稱す天台宗にして弘文天皇

大津

八十一

の御子與多王の創立に係る大津市街の西にあり正面に本堂ありて観音の像を安置す辨慶の曳鐘は高さ五尺五寸厚さ三寸五分あり寺に上れば湖中の景はさらなり膽吹比叡比良近江富士等盡く一眸の中に見ゆ

おもふその曉ちぎる始めすとまづさく三井の入相の鐘

七景は霧にかくれて三井の鐘
藤原信尹
芭蕉

唐崎の松 は八景の一にして湖の西岸辛崎にあり大津より一里餘、枝葉殆んど百坪の地上を蔽ふて湖面に映じ頗る奇觀なり天正年間大津城代新庄駿河守直頼の栽むしものなりと
夜の雨に音をゆづりて夕風をよそにぞ立る唐崎の松

藤原信尹

堅田 亦た八景の一にして大津の北三里五町岸より湖上に突出せる十數間の堂宇あり浮見堂と云ふ芭蕉の句に「鎖じまあけて月さし入れよ浮見堂」又堅田の田園中に塚あり勾當内侍居住の跡なりと云ふ源五郎鮒は此地の名産なり

峯あまたこえて越路にまづちかき堅田になびき落る雁がね

藤原信尹

何物翻々群碧洞、非雲非霧更難辨、數行文字落堅田、分外認來
菅 玄洞

沙上雁

比良山 は八景の一にして雪を以て有名なり大津より山頂迄六里二十町半、春晚尙雪を戴きて湖上の景色一段趣きを添ゆ雪はるゝ比良の高根の夕暮は花のさかりに過るはるかな

藤原信尹

風散雪花如辟珠。比良零影映琵琶。晚來藤六最憐惜。老去山靈是白鬚。

林 羅 山

比叡山 は山城に跨る高山にして直立二千二百六十尺山頂に延曆寺あり天台宗にして延曆七年僧最澄勅を奉して創建せしものと云ふ京都停車場より田中一乗寺各村を経て比叡山まで二里廿一町登臨すれば近江山城を下瞰して湖上の風景手に取るが如し山は東塔西塔横川の三谷に別つ

唐崎の松は扇のかなめにて漕行く船は黒繪なるらん

慈 鎮 和 尙

麓には千里の波をかたしきて枕のもとに有明の月

同

日吉神社 ひよ は比叡山の東麓にあり大津の正西一里二十五町の處

にあり宮殿七社末社十四あり毎年四月中旬大祭にして其賑ひ國中第一とす

●大谷 全 三百二十一哩八鎖

逢坂山の中腹近江山城の國境に位す街道の峠より少しく東の方に今猶逢坂關の舊跡あり峠より大津に至る街道に蟬丸の祠小町の跡等あり走井餅は此地の名物にして其起りは大谷茶屋の前に走井あり昔し清原元輔が「走井のはとを知らばや逢坂の關引こゆる夕かげの駒」と詠せしより起る

●山科 全 三百二十四哩三十五鎖

戸數一千三百六十安朱村以下二十三の小村より成る大石良雄閑居の跡は字西の山村に存在し今は寺となれり花山村には大石の斷食石あり又此邊に古跡多し深草少將の宅趾小野の小町の塚等

もありと云ふ又此地より伏見へ一里醍醐へ十五町あり

●稻荷 全 三百二十七哩三十六鎖

名高き伏見稻荷は延喜八年の創建にして毎年二月初午の日大祭を執行す賽人山の如し

伏見

戸數四千五百二十餘稻荷停車場より南二十餘町にあり紀伊郡役所淀川汽船會社等あり豊臣秀吉の舊城地にして今猶東端に其跡あり數百株の桃を植ゆ

巨掠の地は南にある大池にして宇治川の分流此に入る山吹の名勝なる井手の玉川の古跡は池邊にあり

宇治村は伏見より東南二里五町の處にあり應神天皇の皇子菟道稚郎子の閑居し玉ひし地なるにより此の名あり此地我國第一

の茶所にして昔梅尾の明惠上人曾て茶種を宋より齎し歸りて栽培せしに基くと云ふ

平等院は宇治村の東端にあり源頼政の自及せし地にして今猶扇の芝を存す

●西京 全 三百二十九哩十九鎖

戸數六万九千人口二十九万六千六百上京區下京區の二に分つ古平安城と稱し桓武天皇都せられしより一千七十六年間の舊都たり鴨川東を流れ東山西山の二つに別つ山水の明媚なること我國第一の勝地とす今左に停車場より各名所遊覽へ至るの程里を記す

禁裏御所 三十町 二條離宮 二十五町

三條大橋 二十四町 東本願寺 三町

- | | | | |
|-------|-------|-------|------|
| 西本願寺 | 九町 | 金閣寺 | 一里七町 |
| 銀閣寺 | 一里十町 | 四條大橋 | 二十町 |
| 三十三間堂 | 十四町 | 智恩院 | 三十町 |
| 上賀茂神社 | 二里 | 北野天満宮 | 一里二町 |
| 大徳寺 | 一里十二町 | 八坂神社 | 二十七町 |
| 祇園御旅所 | 一里 | 圓山温泉 | 三十町 |
| 下賀茂神社 | 二里五町 | 嵐山 | 三里 |
| 南禪寺 | 一里餘 | 仁和寺 | 一里十町 |

其他東大谷、西大谷、鹿ヶ谷、清水寺、鞍馬山、愛宕山、高尾、梅の尾、高臺寺等殆んど枚擧すべからざるを以つて詳細なることを知らんと欲する旅客は別に西京案内記に就いて見るべし
産物は西陣織、清水焼、友仙染、紅、栗田焼、白粉、水菜等なり

旅宿案内

- | | |
|------------------|--------------------|
| 鍵屋(三條通大橋東へ入る) | 八尾宗(高倉通松原下る) |
| 常盤樓(河原町通二條下る) | 丸萬(東洞院三條下る) |
| 也阿彌(洛東圓山町) | 富田屋(東洞院西へ入る) |
| 儀屋(麩屋町通姊小路上る) | 萬屋(三條通小橋西へ入る) |
| さは文(全押小路) | 中村樓(八坂祇園前) |
| 田中屋(西六條西中筋) | 榊屋(圓山町) |
| 茶屋(三條通大橋東へ入る) | 日光屋(三條通り小橋) |
| 近江屋(梅村宗七)醒ヶ井通花屋町 | 河内屋(中珠數屋町通り) |
| 藤屋(全上) | 井筒屋(全上) |
| あだち(三條通大橋東へ入る) | 近江屋(中川善六)六角通高倉東へ入る |
| 平野屋(蛸薬師東洞院東へ入る) | 松屋(御幸町三條上る) |

終 屋(狹屋町通姊小路)上る)

八幡屋(富小路松原下る)

もち屋(六角通り東洞院西)

砂糖茂(油小路御前通下る)

わた屋(柳馬橋通六角下る)

釘拔亭(三條小橋西北詰)

◎向日町 全 三百三十三哩二十六鎖

戸數七百六十乙訓郡役所のある所にして西一里開田村に長岡天満宮あり宮内風致に富む其北十餘町粟生野に光明寺あり淨土宗にして圓光大師の像を安ず山吹の名所なり

◎山崎 全 三百三十八哩六鎖

大山崎の庄は天王山の麓にあり羽柴秀吉明智光秀を亡ぼせし地なり又明治初年會津桑名二藩の兵が薩長の兵と接戦せし地なり戸數三百十あり離宮八幡宮は停車場の前にありて寶寺は停車場の北にあり又男山八幡宮は停車場の東南一里程にあり宮の麓

(宮は鳩ヶ峯にあり)木津川の南岸に八幡町あり奈良龍田の通路に當り戸數一千餘此地より南六里餘に木津村あり右一里半にして奈良に至る

◎高槻 全 三百四十二哩六十三鎖

戸數六百八十元と水井氏の城下也南一里餘に牧方あり煙葉を多く産す又北半里に古曾部村あり古曾部焼と稱する陶器の産地也神峯山寺 是高槻の北二里餘神峯山の山上にあり五水瀧等の勝あり

金龍寺は高槻の北一里餘たまたまかやま近山の中腹にあり寺内に能因櫻あり山麓を淺茅ヶ原と云ふ

山里の春の夕ぐれ来て見れば入相の鐘に花ぞ散りける

能因法師

浅茅原まどふ黒髪まのふまで誰が手枕の上に置けん

全

●茨木 全 三百四十六哩六十八鎖

戸數六百八十島下郡役所のある所なり西端に茨木城あり福島某の築く所にして中川清兵衛、片桐且元等の居りし城なり村内に中川清兵衛の香華院なる梅林寺あり又東北十餘町總持寺（眞言宗）西北一里十餘町に勝尾寺（眞言宗）あり其北數町の山麓には光明天皇の陵あり

●吹田 全 三百五十一哩十九鎖

戸數七百九十餘神崎川の北岸にあり（神崎川は淀川の分流なり）村内に悪七兵衛景清の泪池高菰觀音寺、護國寺、圓滿寺等あり箕面の瀧 は吹田停車場の北三里箕面山中にあり高さ十一丈二

尺幅三間餘満山楓樹にして秋時殊に美なり瀧安寺、唐人戻り岩、龍穴等の名勝あり又旅店岩本樓等あり大坂より五里神崎停車場より四里三町あり

●大坂 全 三百五十六哩三鎖

戸數九萬五千八百餘人口四十八萬四千人東西南北の四區に分つ淀川は市街の北部を貫流し分れて安治木津尻無の三川となり海に入る橋梁多くして殆んど二百餘に達す心齋橋筋、高麗橋通り、淀屋橋筋、本町等を商業殷賑の地とす又道頓堀、千日前には劇場等ありて往來頗る雜鬧せり大坂城は東區の東端に、控訴院は北區若松町に、高津の宮（仁徳天皇を祀る）難波停車場（奈良に至る）湊町停車場（堺に至る）は南區に、府廳及び川口居留地は西區に、兩本願寺は東區に、天満天神、中の島公園は北區にあり市中市

外風景の見るべきもの難波橋中の島の眺望、櫻の宮の櫻花(造弊局の對岸にあり)天保山(梅田停車場より二里)の海水浴大坂城の宏壯高津神社の雪景生魂神社(梅田停車場の南一里餘)の春景天王寺の高塔川口の連櫓等なりとす

大坂市内旅人宿一覽

- 大坂ホテ (草野きみ)中之島一丁目
- 丸萬 心齋橋筋一丁目
- 花屋 全三丁目 松屋 道頓堀筋
- 專崎 北濱三丁目 銀水樓 口之島一丁目
- 環龍館 中之島五丁目 北川 東區大川町
- 紫雲樓 今橋通四丁目 花外樓 北濱一丁目
- 竹式 北濱一丁目 錦波樓 北濱四丁目
- 岸澤屋 南區大和町 山鶴 東區島町一丁目

- 竹田屋 北區樋上町 大八 全本町一丁目
- 加納屋 東區伏見町三丁目 松卵 全大川町
- 柏屋 全本町一丁目 宮本 西區長堀橋北川岸
- 備忠 全大川町 駒井屋 東區安土町二丁目
- 鈴木屋 全備後町二丁目 柳屋 全北久太郎町一丁目
- 名物は淀屋橋煙草入、粟おこし、昆布、鼈甲細工等なり

◎神崎 全 三百六十哩五十一鎖

戸數百二十夫の一休和尙と和歌の間答をなせし遊女江口の君は此の地のものなりと云ふ是より南は尼ヶ崎北は伊丹池田に通ずる攝津鐵道あり

伊丹池田は古より清酒の醸造を以つて其名高し伊丹より有馬温泉迄四里二拾町尼ヶ崎は元と細川氏の城趾にして戸數二千

●西の宮 全 三百六十五哩三十三鎖

戸數二千四百八十武庫菟原郡役所の所在地にして亦た清酒の醸造を以て有名なり兜山西に連り武庫六甲の二山西に聳る武庫山の南麓蘆屋村は古へ蘆屋の里と稱し猿丸太夫の墓業平の邸趾等あり又停車場より西北八町に大國主西神社あり大己貴命を祀る毎年一月十日は西の宮の十日蛭子とて賽神者は福を授かるゝ稱し四方より參詣者群集す名高き神功皇后御出産の地と稱する打出の濱は町より五六町の處にあり
寶塚温泉は停車場の北二里伊子志村にあり多量の格魯兒那篤留母(塩分)を含む新開の温泉なり浴舎の宿料一日上等廿五錢以上下等十八錢なり此地より生瀬村を経て有馬に至るの道あり

中山寺は 町より西北三里中山の南麓にあり眞言宗にして用明天皇二年厩戸皇子の開基に係る登臨の風色頗る佳なり
廣田神社は町の北十二町廣田村にあり神功皇后攝政元年の創立と云ふ

●住吉 全 三百七十哩五十四鎖

戸數六百御影町 (南五六町にあり清酒を以て名高く御影石は此町の山より出づ) より有馬温泉に至る街道に當る名高き住吉神社は鐵道の傍らにあり神功皇后攝政中の創建なり岡本梅林は東北半里計り岡本村にあり

有馬温泉

有馬温泉は住吉より正北三里十町有馬町湯山町にあり神戸よりは五里十五町神崎停車場より六里あり戸數三百五十あり三方山

有馬温泉

を負ひ北一面僅に開け三田を経て丹州但馬へ通ずる道あり盛夏
と雖ども寒暖計九十一二度の上に達せず泉質は多量の鹽化那篤
留母を含蓄し之を嘗むるに鹹味あり且毎に酸化鐵游離して茶褐
色を呈し手拭浴衣の如きは忽ち茶褐色に染む効能は腺病、皮膚
病、中風、婁麻質斯、貧血性、慢性神經病、潰瘍等に宜しく口瘡、咽
喉腐爛等には含嗽して効あり

旅店

奥之坊

二階防

池之坊

御所坊

中之坊

尼崎坊

角坊

北之坊

若狹屋

大門

禰宜屋

休所

清水屋

刀根屋

福島屋

立花屋

くし屋

杉本屋

此地亦た名勝多し所謂六景なるものあり即ち鼓ヶ瀧の松嵐、落
葉山の夕照、温泉寺の晚鐘、功地山の秋月、有馬富士の暮雪、有明
樓の春望是なり其他鳥地獄、落葉山古城跡、温泉神社等の名所あり

り名物は有馬筆、竹細工、有馬焼、湯染手拭等なり

●三ノ宮 全 三百七十五哩三十七鎖

神戸市の東端にある神社の名にして停車場は其社に近きを以て
名とせり神戸市の東部及び外國人居留地等に往來する旅客は此
の停車場にて降車するを便とす

生田神社 は神功皇后攝政元年の創建にして停車場の北五町生
田の森にあり壽永年間源平の古戰場にして藤の梅、敦盛萩、梶原
井は今猶境内にあり

布引の瀧 は停車場の北半里布引山の麓にあり雄瀑雌瀑の二瀑
あり雄瀑は高さ十五丈雌瀑は七丈三尺あり山下布引町の左傍に
布引温泉あり冷泉にして多量の炭酸を含めり入浴料幕湯一回十
錢總湯二錢旅舎は常磐舎、富貴樓、菊水等にして何れも料理店を

兼たり

摩耶山 は六甲山の西に連なる山脈にして三の宮の東北凡と一里廿町上野村より登り二十餘町にして山頂に至る山上に天上寺あり夏季登山者には客殿を賃して宿泊を許す

●神戸市 全 三百七十六哩四十鎖

神戸港とは西和田岬より東小野濱の間を云ふ戸數三萬六千餘あり湊川を隔てて兵庫に連る市街の最も繁昌なる所は元町通り、榮町通り、多門通り等なり外國人居留地は榮町元町の東端より生田川を限りとす

市内旅宿案内

自由亭 宇治川西側
常盤樓 全 上

東常盤舎 山本通四丁目
常盤屋 全 五丁目

常盤花壇	兵庫湊町	熊谷	海岸通二丁目
音羽花壇	全宮内町	蓬萊舎	全 三丁目
後藤	神戸海岸通三丁目	紀伊國屋	全 四丁目
花屋	全榮町三丁目	鹽喜	全榮町三丁目
常盤舎	海岸通四丁目	安藤	全海岸通五丁目
備前屋	榮町四丁目	笹松	兵庫宮内町

湊川神社 は神戸停車場の西四町多門通り二丁目にあり諏訪山温泉は神戸停車場の北十二町山腹に諏訪神社あり故に山の名とす泉質は炭酸泉にして温冷二浴の設あり割烹店を西常盤、中常盤、本常盤、東常盤、一力、播半、山海樓等なりとす諏訪山の後に弘法大師二度登りし再度山あり登臨佳絶なり

○關西鐵道（名古屋より四日市龜山を経て江州草津に至る私設鐵道にして中間龜山より分れて津に至る分岐線を併せ云々）

●蟹江 名古屋を距る五哩七十鎖

豪農富商多く百貨常に輻輳す

●彌富 全 十哩二十一鎖

●桑名 全 十四哩七十四鎖

戸數二千餘舊城趾春日神社等の遊賢所あり旅宿は船津屋、京屋等にして産物は時雨蛤、白魚等なり

●富田 全 十九哩六十鎖

●四日市 全 二十三哩八鎖

戸數三千四百五十横濱への定期航海船、神社港、大野、紀州大

坂神戸各地へ至る便船熱田通ひの小蒸氣船あり

旅店 濱田屋（高砂町） 美濃喜（南町） 吉高屋（藏町）

帶 屋（稻葉町） 十九村屋（北町）

濱田屋、吉高屋其他の旅店は海岸に船客取扱ひの出張店あり又料理店兼旅宿にては松茂樓吾妻樓有名なり

湯の山温泉は東南五里計の處にあり菰野村（三里十二町）を経て伊勢近江に限れる大山脈の間に出づ鑛泉は微温泉にして常に沸かし用ふ單純にして少しく亞兒加里を含あり當國著名の温泉にして盛夏四五千人の來客あり

温泉宿 壽亭、旭亭、三杉亭にして壽亭一日宿料二十九錢席料は八疊一週間三十七錢六疊二十二錢五厘四疊半十五錢他の二軒は猶少々安し又他に三岳寺の古刹あり

●河原田 全 二十七哩三十五鎖

戸數四百三十南十町にして鈴鹿川あり又南一里に神戸町あり本多氏の舊城邑にして戸數六百九十旅舎は道具屋糶屋等なり夫より南一里二十町に白子町あり戸數一千三十驛の南端に藤原不比等の建立せし子安觀音あり寺内に不斷櫻あり旅店は野島屋、紺屋等とす此地より伊賀の上野を経て津に至る四里十町なり

●高宮 全 三十一哩五十六鎖

石薬師は高宮より二十町茲に西福寺あり源範頼の古蹟蒲櫻は該地にあり

●龜山 全 三十七哩二十六鎖

戸數一千六百石川氏の舊城址にして鈴鹿郡役所あり此地より線路は分岐して津を經過し宮川驛に達す旅宿は伊勢屋、柏屋、魚屋

等なり有名なる能褒野神社は東北三十町にあり

以下龜山より分岐して津市に至る各停車場近傍の案内を記す

●下の庄 龜山より三哩三十七鎖

戸數四百八十あり

●一身田 全 七哩四十二鎖

戸數八百六十關より掠本高野尾等を経て津市に至る參宮別街道に當る是より津市迄一里旅店は辰巳屋、角屋、榊屋、圓城屋等なりとす又伊勢第一の巨刹専修寺は眞宗高田派の總本なり

●津市 全 九哩二十六鎖

戸數五千八百五十舊と藤堂氏の城址にして市の南にあり津公園は市の北部下部田村にあり高山神社を祭る其他結城神社、八幡神社、四天王寺等甚だ多し産物は緞子、絹木綿、安東焼、茄子團

扇、杓子餅等なりとす

旅店

大觀亭(入江町)

加喜伊(京口町)

聽潮館(極樂町)

國分屋(桐生彌八)

若六(東町)

林屋(東山)

櫻木樓(萬町)

山際屋(伊豫町)

喜亭(西町)

松阪屋(下部田)

久居桃林 津の西南二里計りにあり七千餘株の桃林一眸霞を敷くが如し又久居の北二十町計りの所に新家桃林ありて三萬株の多きに及ぶ共に春時節を引くもの多し

津市より宮川間に通ずる參宮鐵道の案内を左に記す

○阿漕(津より二哩二十九鎖)

阿漕神社又は芭蕉翁の名碑あり「月の夜の何を阿古木に啼く千鳥」の句を刻す阿漕浦は津興海濱の名にして青松白砂相點綴し

て絶勝の地なり近傍に辛洲海水浴あり亦た風光佳絶の地とす浴舎を松阪屋と云ふ

●高茶屋

全

四哩七十二鎖

●六軒

全六哩三十九鎖

●松阪

全

十一哩七十一鎖

戸數二千五百飯高飯野郡役所あり松坂城趾は殿町にあり舊紀州家の城番たりし所なり今は公園地となれり其他意悲神社本居神社等名所多し産物は木綿梳油等あり津市より松阪迄四里十町旅店 棒屋與兵衛 西條屋吉五郎 西村屋修二 米屋 鯛屋

●徳和

全十三哩六十鎖

●相川

全十六哩六十四鎖

●田丸

全二十一哩十一鎖

●宮川

全二十三哩五十八鎖

山田町のある所にして宮川の東畔に位し尾部阪以西を宇治と稱

あり名物には靜馬蕎麥、靜馬餅等あり藤堂氏分城の地にして今猶白鳳城の跡あり旅店は八百新 友生屋 三田屋等とす

月の瀬

上野より西南三里餘、木興、朝屋、法華寺等の村を経て長田川を渡り白檜村に至り白檜村より石打を経て尾山迄半里尾山より名張川の橋を渡り嵩村に至り嵩より月の瀬に至る然れども梅花のある所は殆んど十六ヶ村に亘り延長八九里に達し白檜、石打、尾山、長引(尾山より北半里笠置に至る街道にして笠置迄三里あり)月の瀬、嵩、瀬瀬、中峰山、吉田(四村月の瀬の東一里餘あり)桃香野、高尾(月の瀬の北にして奈良街道に當る)の各村其主なるものにして月の瀬と云ふは唯各村を通稱して云ふものなり就中尾山長引は各村中梅林尤も多し尾山には名高さ一目千本

の梅林あり總て月の瀬は獨り梅花を以つて名高さのみならず山水の景亦た絶美にして松竹は溪間、山峰を綴りて花は經となり松竹は緯となり疎影横斜絶崖清潭に相映するの光景殆んど畫歌の盡くす所にあらず殊に名張川の清流に掉して月影を踏むときは鶴と人と共に香世界に迷ふの趣きあり所謂月の瀬十勝は古來詩家歌人の嘆賞して已まざる所なり

此地齋藤拙堂翁が「月勝記勝」の著ありしより其名大に顯はれ次で星巖山陽棕隱の諸士皆遊びて其勝を讚賞せしより遂に海内第一の梅林と稱するに至る盛開は時候により每年少差ありと雖も大抵四月下旬の頃なりとす桃香野より奈良へ六里又笠置山を経て木津村に出て船にて木津川を下り大坂に出る便路あり又月瀬保勝會は長引にありて會員には觀梅者に特別の待遇をなす

し以東を山田と云ふ志摩大和紀伊の各街道に當り東北に大湊、神社港を擁し商業繁昌の地なり戸數五千七百餘、度會郡役所等あり産物は春慶塗、各細工等なり津市より九里二十四町名高き外宮は山田の原にあり内宮は外宮と相距る一里宇治町の南端五十鈴川の上流にあり我邦の總廟にして天照大神を祭る。二見ヶ浦は山田町の東凡二里立石江村の西北海岸の名なり海岸數間を隔て、奇岩二あり相距ること三間計り形ち關門をなし大なるもの二十九尺小なるもの十二尺旭日拜見の名所にして毎年一月一日は諸人雲集す又近傍に海水浴あり浴舎を清瀆亭(若松)と云ふ

朝熊山は宇治町の東凡二里伊勢志摩の州界にあり金剛證寺。香海庵、富士見臺等あり族店を角屋、豆腐屋等とす

●關 名古屋より四十哩六十五鎖

戸數八百六十關の地蔵は驛内新所村にあり筆捨山は西北一里許の所にあり傳ひ云ふ昔し狩野古法眼此山の眞景を寫さんとして能はず終に筆を投じて去れりと旅店は會津屋、山口屋、玉屋、大津屋等なりとす關の戸餅は土地の名物なり
鈴鹿山は伊勢近江の國境にありて東海道坂下驛の西端に位す山中に名高き八百八谷あり日本武尊の通りし山路、田村麿將軍鈴鹿の鬼神退治の口碑等あり

●上栢植 全 四十九哩五十八鎖

戸數七百三十關より分れて大和に至る縣道に通ず旅店は尾張屋、外三四軒あり是より伊賀の上野町迄三里十八町あり上野町は戸數三千二百渡邊靜馬復仇の舊跡鎌屋の辻芭蕉翁の宅跡念佛寺等

あり名物には靜馬蕎麥、靜馬餅等あり藤堂氏分城の地にして今猶白鳳城の跡あり旅店は八百新 友生屋 三田屋等とす

月の瀬

上野より西南三里餘、木興、朝屋、法華寺等の村を経て長田川を渡り白檜村に至り白檜村より石打を経て尾山迄半里尾山より名張川の橋を渡り嵩村に至り嵩より月の瀬に至る然れども梅花のある所は殆んど十六ヶ村に亘り延長八九里に達し白檜、石打、尾山、長引(尾山より北半里笠置に至る街道にして笠置迄三里あり)月の瀬、嵩、瀬瀬、中峰山、吉田(四村月の瀬の東一里餘にあり)桃香野、高尾(月の瀬の北にして奈良街道に當る)の各村其主なるものにして月の瀬と云ふは唯各村を通稱して云ふものなり就中尾山長引は各村中梅林尤も多し尾山には名高さ一目千本の

の梅林あり總て月の瀬は獨り梅花を以つて名高さのみならず山水の景亦た絶美にして松竹は溪間、山峰を綴りて花は經となり松竹は緯となり疎影横斜絶崖清潭に相映するの光景殆んど畫歌の盡くす所にあらず殊に名張川の清流に掉して月影を踏むときは鶴と人と共に香世界に迷ふの趣きあり所謂月の瀬十勝は古來詩家歌人の嘆賞して已まざる所なり

此地齋藤拙堂翁が「月勝記勝」の著ありしより其名大に顯はれ次第星巖山陽棕隱の諸士皆遊びて其勝を讚賞せしより遂に海内第一の梅林と稱するに至る盛開は時候により每年少差ありと雖も大抵四月下旬の頃なりとす桃香野より奈良へ六里又笠置山を経て木津村に出て船にて木津川を下り大坂に出る便路あり又月瀬保勝會は長引にありて會員には觀梅者に特別の待遇をなす

●深川 全 五十七哩五十三鎖

戸數四百八十停車場に一二の旅店あり此地水口より上野に至る分岐街道に方る水口驛は北一里十町程にありて三雲を距る東一里十五町戸數一千三百八十甲賀郡役所水口神社等あり旅店は柵屋萬屋等なりとす

●三雲 全 六十二哩四十一鎖

戸數七百五十旅客の西より水口に赴く者此處にて瀛車を降るべし南一町餘に岩根山あり山上に登れば琵琶湖比良比叡等一眸の中に見ゆ

●石部 全 六十六哩七十一鎖

戸數七百二十旅宿は八幡屋、扇屋等、村内石部神社あり倭姫を祭る此地多く石灰を出す又東寺西寺の古刹あり

●草津 全 七十二哩三十三鎖 東海道線の部に
出づ

◎東北鐵道

●上野停車場 起點地

●王子 距東京三哩七十三鎖

静閑なる一勝地にして飛鳥山（南に峙つ櫻の名所元文の比台命に依て櫻樹數千株を植ゆ）王子神社（音無川を隔てたる處にあり）王子稻荷社瀧の川の楓樹（驛の北を流る）不動の瀑（停車場の西北六町計り）名主の瀑等ありて四季の賞遊に富めり驛内名高き王子製紙場あり
料理店は 海老屋 扇屋等何れも庭内に河水を引き花木を栽へ幽致を極めり

●赤羽 全 六哩十四鎖

品川線と東北線の岐るゝ處なり故に板橋、品川、横濱、新宿、八王子地方に行くものは必ず汽車を乗換へざるべからず地勢高燥にして第一師團工兵營所あり人烟日に増し商賣頗る盛なり荒川北を流れて五百〇三間二尺餘の鐵橋を架せり

●蕨 全 十哩二鎖

人口二千餘東西二町南北七町餘あり

●浦和 全 十二哩六十六鎖

戸數千八百人口六千餘埼玉縣廳のある所驛の南に公園あり又驛の西北一里餘、與野町に一公園あり園の廣さ五千坪樹數百株あり

旅店 山口屋 今福屋 山田屋

●大宮 全 十六哩五十三鎖

鐵道三線に岐れ北は與羽日光水戸兩毛に通じ南は東京に達し西は中仙道に至る故に旅客は旅行の地方に因て乗換ゆべし戸數九百餘武藏總鎮守と仰ぐ氷川神社は此の地にあり今は其境内を以つて大宮公園となす

大宮公園は停車場より十二町神社の前面には周回十餘町の古池ありみはらしの池と呼ぶ境内岡陵起伏松杉繁茂す夏時納涼螢狩の勝地なり

旅店兼料理店 萬松樓 藤の戸 槇の尾 松友館 公木樓

(萬松樓は礦泉浴場を設け園内より礦泉湧出す)

旅店 栗原 自由 松幸 田村屋

其他八本松、潮田山、九郎塚、稻荷祠等の古趾あり

●蓮田 全 二十哩十四鎖

戸數二百近傍牛島村に大藤あり周圍五六尺長さ二十五間餘又東二里餘慈恩寺に縣下有名の古刹あり

旅店 岡本屋 旭屋

●久喜 全 二十八哩十五鎖

戸數六百五十東北里許に幸手驛あり旅店は藤田屋甲州屋

●栗橋 全 三十三哩三十六鎖

陸羽海道の一驛なり戸數七百餘利根河を渡りて古河に達す此の所は川を以て武藏下總埼玉茨城の國縣を分ち川の中心を以て堺とす又停伊場の南伊坂村に靜の碑あり中田村の光丁寺に今尙靜の舞衣寶物を存す白川樂翁の記あり

●古河 全 三十七哩七十七鎖

戸數三千茨城縣に屬す日々、市川、行徳、東京に往復の川蒸汽船あり雀神社は今は公園となり東十五町銚延寺に熊澤善山の墓あり又土井氏舊城内に源三位の墓あり

旅宿 紙屋 大田屋 笹屋

●小山 全 四十哩七七十二鎖

戸數一千三百鐵道四通の地にして東は結城下館を過ぎ水戸に達し西は栃木足利を経て前橋高崎に到る南は東京北は奥羽地方に通ずるを以つて客は其行先に從ひ瀛車を乗換ゆへし驛の西、舊小山氏の城趾あり

旅店 角屋 伊豆倉 山口屋 口中屋

●小金井 全 五十二哩四十鎖

今は國分寺村に合し字となれり國分寺は戸數千餘東三十町に藥

師寺舊跡あり、弓削道鏡の墓は祥雲山龍興寺の右方にあり

●石橋 全 五十七哩二鎖

戸數千餘千瓢の名産地なり、旅店は田村屋角屋なり

●宇都宮 全 六十五哩六十六鎖

戸田氏の城下にして、戸數九千五百餘、二荒神社は大巳貴命を祭り、例祭は九月九日なり、又誓願寺には宇都宮公綱の建てし鐵の碑あり、明神社は白峯にあり、蒲生君平の碑を存す（墓は市中禪林寺にあり）其他西北二里半の所に全國無比の大谷山あり

是より日光支線を説く

●砥上 距宇都宮 四哩 ●鹿沼 全九哩 ●文狭 全十四哩

●今市 全二十一哩

砥上は宇都宮より三哩四十八鎖、姿川西北を流る鹿沼は戸數三千

黒川北を流れて兩岸樹木鬱蒼たり、停車場より一里半西南に當り、川に沿ふたる地を西見野といふ、老櫻數十株ありて風光明媚なり、上都賀郡役所鹿沼入道の古址あり、麻は此地の名産にして、麻績紡會社は、大津札幌と並ひ稱せらる

旅店は 大澤屋 若屋 仲半

文狭は大谷山の麓に接し、姿川の巨流に瀕せり、西北二十三町に小代温泉あり、驛を距る二里、小來川村に足尾の銅山あり

旅店 森岡屋 梅屋 太田屋

今市は戸數一千七百餘、日光を距る四哩一鎖、如來寺に有名の大伽藍、又二宮尊徳翁の墓あり

旅店 萬屋 橋田屋 料理店は 東亭 新坂

北四里半に藤原温泉あり、無色透明、反應は弱、亞兒加性、里にして九

十六度の温度を有す温泉宿は幸屋の二戸あり又此の温泉より鬼怒川を隔てし對岸に瀧温泉あり泉質は硫黄にして無色透明其反應は亞兒加里性にして百七度の温度を保つ又藤原温泉より北一里餘に川治温泉あり鹽類泉にして百十三度の温泉を有す戸數十四近江屋鬼子三神山某の温泉宿あり籠目巖は今市より東北二里餘岩生村にあり奇觀云ふべからず

●日光 距宇都宮二十五哩

日光町は戸數二千市街十三町よりなり入口を松原町と云ふ二丁餘鉢石町に出づべし龍藏寺の觀音、石山觀音、堂辨財天等見るべきもの多し

- 旅店 會津屋 小西屋 神山徳平 紙屋 古橋保平
- 油屋 釜屋

日光山（即ち二荒山は神護景雲元年僧勝道始て之を開き弘仁十二年に至り僧空海同山の瀧尾社寂光社を中興し其後日光と改稱す）は徳川家康の廟所にして宮殿の壯麗山水の秀靈實に海内無雙と稱す

東照宮は明治六年別格官弊大社に列す參詣するには鉢石町を出で神橋の東假橋を渡りて（本神橋は長十四間朱塗にして勾欄擬寶珠に鍍金の金物を用ふ常人の渡るを許さず川は華嚴瀧の下流にして大谷川と云ふ）石階を上ること三町後水尾天皇の宸筆に係る華表あり夫より又石階を上げば朝鮮國より獻納せし虫喰鐘琉球より獻せし蓮燈籠和蘭國より贈りたる廻燈籠等あり是より又石階を上げば陽明門（日暮門とも云ふ）あり破風造りの樓門にして銅葺二重柱は楓の丸木欄間欄干は支那古聖人鳳凰孔

雀等の彫物にして金を鏤め彩を施して總て名匠の手になる陽明門と相對して正面に唐門あり唐門を入りて拜殿に達す承塵に後水尾天皇御宸筆土佐左近將監の三十六歌の額面を掲ぐ天井は中心に伽羅木を以つて葵の紋章を着け其他金銀の花木堆朱の柱珍禽奇獸の彫物等名狀し難し拜殿も右の室の間に四季の柱あり堆朱の柱にして一基の價當時八萬兩宛なりしと云ふ奥院は本社後の山上にあり入口は猫御門にして左甚五郎の丸彫の睡猫承塵なみの上にあり玉垣の中唐銅の寶塔の下に家康の遺骸を埋葬せり

二荒神社は東照宮の表門より右折して新宮馬場を出で數十歩にして本社に到る八棟造り濱縁向拜付總朱塗、正面の扉は黒塗なり内殿の左右に神寶を並列す拜殿の側らに高野槇あり

大猷院殿の靈屋

即ち家光將軍を葬りたる所にして正面に二王門あり二王門を入れれば二天門あり樓上の高欄擬寶珠等には總て鍍金の金を用ひ此處を入り七十二級の石階を上れば左右に鐘鼓の二樓あり次に夜刃門及び唐門あり夫より拜殿に至る奥院入口に皇嘉門あり大猷公の靈牌は正殿内扉の壯嚴赫灼たる中にあり皇嘉門より御供所、瀧光院、瀧尾社、佛岩子、種石、素麵瀧、飯盛杉、手掛石、三本杉等に往けば其より含滿(弘法大師投筆の梵字)へ十町大日堂へ十八町外山へ廿町布引瀧裏見瀧へ一里歌ヶ濱、妙見社、霧降瀧へ一里華嚴瀧、中宮祠へ三里温泉場へ六里其他名所枚舉に違わらず

霧降の瀑 假橋より一里半、山頂平坦の所に望瀧臺あり夫より二三町にして瀧壺に至る二條に飛下す一の瀧と云ふ二の

瀧の半より二流に分れ岩石に觸れ激して飛散し水氣煙霧の如し故に此の名あり(瀧の高十三四丈)

裏見の瀑 日光町より西南一里十五町荒澤の麓より溪に沿ふて下れば裏見の瀑は正面に懸り左右亦小瀧を懸けたり橋の左より更に峻岩を踏み小瀧を涉りて迂回すれば瀧の裏面に至るべし行人皆此處に來りて瀑水を其背面より見るを常とす故に此の名あり慈觀の瀧は裏見の瀧の上流にあり瀧の上は一大平石斜面をなし其幅十五六間長さ五六十間あり瀑水平石を流れ來りて高さ四丈計りあり

華嚴の瀧 中禪寺道を進みて牛王阪を上り深澤の茶屋を過ぎ大平に出で夫より四五町にして至る對岸高さ所に一の茶亭あり瀑水直下七十五丈幅八間岩燕と稱する小鳥あり水煙を破りて翺翔

す

中禪寺湖 又南湖と云ふ東西三里南北一里餘周回七里三十二町艇を放つて一葦の行く所に任せば歌の濱、寺崎、日輪寺舊跡、上野島、千手が崎、紅葉浦、菖蒲沼等の名所を觀る湖畔に中宮祠あり旅宿は葛屋、泉屋、中村屋、米屋等毎年八月五日より七日間二荒山神社登拜の神事を行ふに際し此地頗る繁昌なり

湯本温泉 中禪寺温泉と云ふ中宮祠の湖畔より二餘里地形は東西北の三面に山を遶らし南の一方は湯の湖の青鏡を朝み氣候土用中と雖ども晝八十度朝夕七十度内外なり人戸三十泉質は硫黄泉に屬す舊曆四月八日浴舎を開き九月八日室を閉づ湯之湖は東西廿五六町南北十五町餘

旅宿 山田屋 吉見屋 松本半才

湯瀧 湯の湖より落來り高さ四十五六丈幅十五六間一大奇觀なり

足尾鍍山は日光町を距る西南七里餘にあり日々發掘する所の鑛石三万貫之を荒銅に製し六千貫目餘を得ると云ふ銅山より二里山奥に名高き庚申山あり

●吉田 距東京全七十二哩 ●長久保 全七十七哩

●矢板 全 八十四哩

古田は青森迄三百八十三哩長久保は戸數一千二百餘青森迄三百七十八哩矢板は戸數一千三百餘青森迄三百七十一哩長さ八十間の針生隧道を出づれば廣茫たる平原にして方十里所謂那須野原なり此驛より日光參詣の捷路あり奥羽地方より參詣のものは此驛にて下車するを便とす旅店は住吉屋、佐野屋、大和屋、深川屋、

住吉屋支店

●西那須野 全 九十哩

鹽原温泉に行くの本路にして大田原を距ること二十餘町又西僅かに十八町にして三島驛あり戸數二百餘西那須野村は戸數四百許り舊那須野ヶ原の中にある一村なり又大田原の東南三里餘に那須國造の碑あり

鹽原温泉

西那須野停車場を距る西北五里鹽原山の麓にあり温泉場は上中下鹽原及湯本鹽原の四ヶ所に分れ就中下鹽原に最も多く其小名を大網、福渡戸、鹽竈、鹽の湯、畑下戸、門前、古町といふ大網には見返橋、見返りの瀑寒冷橋、龍瀑、稚兒ヶ淵、布の瀧等あり温泉宿を佐藤久作と云ふ福渡戸は大網より西二十餘町の所にあり戸

鹽原温泉

數二十温泉は岩の湯不動の湯冷の湯樂研の湯等あり又幣川、天狗岩、野立岩念佛庵等あり温泉宿は満壽屋、松屋、玉屋、丸屋、叶屋、磯屋、山形屋、吉野屋、阪口屋、榎野屋、升屋等なり

畑下戸は塩竈門前間にあり瀑あり吉井瀧と云ふ温泉は河原の湯、鳩の湯、貉之湯、本の湯、中の湯の五なり泉質は弱塩類泉にして温度は百二十度乃至百三十五度を保つ温泉宿は佐野屋、紙屋、大和屋、伊勢屋、井桁屋の五戸なり

門前は河原湯、下の湯、白樂坊、寺の湯、三島の湯の五泉源あり温泉宿は宮田屋、松本屋、山口屋、福田屋、疊屋、關東屋等なり

古町は不動の湯、瀧の湯、中の湯、御所の湯、中山の湯の五ヶ所あり温泉宿は會津屋、米屋、萬屋、中之會津屋、永樂屋、稻屋、那須屋、常陸屋、鍛冶屋、角屋、明賀屋、銚子屋等あり楓川樓は料理店を兼

ねたり

鹽の湯 冷の湯、中の湯、岩の湯の三ヶ所あり浴舎は明賀屋、玉屋、柏屋の三あり瀧あり雷霆の瀧、霹靂の瀧、咆哮の瀧、素練の瀧と云ふ

須卷は畑下より八町浴舎を根本屋と云ふ名物の團子あり

新湯は古町より西二里にあり温泉宿は藤屋、大黒屋、君島屋、下藤屋、葛屋、龜屋、菊屋等あり

● 黒磯 全 九十七哩七鎖

那須野の中央にあり那須七湯の通路に當るを以て四方より來る浴客は皆此の停車場にて降車す那須七湯は那須ヶ嶽の四周にありて湯本、高雄股、辨天、北、大丸、三斗小屋、板室の七ヶ所とす黒磯より湯本迄凡そ二里二十五町計りあり湯本の温泉は酸性泉に

して多く硫化水素臭を帯び強酸性鐵味を有す戸數三十温泉宿は
小松屋、河内屋、中藤屋、松川屋、松屋、橋屋、清水屋の八戸あり十
二町にして高尾股、温泉に至る歸路湯泉神社に賽するも一見の
價あり

殺生石は砒臭烈しく鼻を突き居るに堪へざるらしむ所謂砒石
なり砒石の中毒は那須温泉に浴して奇効あり石は温泉神社より
四五町の處にあり湯本より途を北に取り進むと三十町にして辨
天の温泉あり

●黒田原 距東京百〇三哩 ●豊原 全百八哩

黒田原は那須野原中の一村にして豊原は白河の關を距ること里
餘朽木福島の縣界にあり

●白河 全百十三哩五十一鎖

戸數三千餘奥羽街道咽喉の地にして古來勿來の關と并稱し其名
尤も著る

旅店 柳屋 内池屋 勇屋

白河の關跡は市街を距ること三里計樂翁公會つて此地に一碑を
建て能因法師の歌（郭をば霞と共に出でしかど秋風ぞ吹く白河
のせき）を刻せり城趾は市街の東六町餘にあり岨々たる石壁中
に感忠銘の三大字を刻せり

南湖は白河城の南半里許にあり樂翁公の浚開せし所にて周回二
十餘町公の名けし十七勝碑あり南湖の東に楢山あり又是より南
一里計りに佐竹義重伊達政宗と決戦したる關山あり

甲子温泉は白河より五里廿五町阿武隈川の上流甲子山の半腹に
あり下野の那須三斗小屋温泉と相距る直徑二里半に過ぎず樂翁

公會て此山に遊び風光の奇絶あるを賞せり其文は關の秋風にあり温泉は微亞兒加里性にして浴舎は菊地元壽と云ふ
湯本温泉は白河を距る西北九里にあり晩春には桃李節を同ふして開き鶯鶯一時に鳴く泉質は鹽類泉にして湯口屋、星野屋、角屋等の浴舎あり

阿武隈川は甲子山の雄瀑雌瀑より出で陸前の荒濱に至りて海に入る

勿來關は磐城菊多郡關田村にあり著名の古蹟にして源義家の「吹風を勿來の關と思へども道もせにちる山櫻かな」と詠みし所なり

●矢吹 全 百二十二哩七十六鎖

戸數五百二十旅店は筑前屋、古川屋、龜屋なり

●須賀川 全 百三十哩八鎖

戸數三千餘三春町に至る七里名高き三春馬は三春及び此地に産す旅店は大和屋藤兵衛なり

●郡山 全 百三十七哩二十二鎖

安積郡中第一の名邑にして戸數二千七百名高き磐梯山は西北八里の所にあり此地年々干魃の患ありしが明治五六年の頃奈良原繁氏猪苗代の湖水(磐梯山の麓にあり周回十六里餘)を引き對面が原開盛山を開墾せしを以て灌漑甚だ使なり

旅店 川崎屋 海老屋 菊屋

●本宮 全 百四十六哩

人口六千百九十五高倉宿へ三里三春へ三里餘、花山の頂上に安達太郎神社あり樹木蒼蒼風光愛すべし

旅店 境屋 越後屋 水戸屋

熱海温泉は停車場より西三里半高玉村にあり塩類泉にして總て皮膚病に効あり

●二本松 全 百五十二哩

戸數二千五百戊辰の戦地にして城趾に製糸場あり市後に安達大郎山時ち山中温泉あり岳の湯と稱す四近楓樹多し泉質硫氣を含めり又市街の北方に岩窟の舊跡あり世に著名なる安達ヶ原鬼媼の潜居したりと云ふ一小堂にして同媼の出乃古鍋及萬年竹と稱する二股の竹等を藏す又市内に觀音寺あり途中樹林に黒塚の碑あり兼盛の歌を刻せり安達郡役所は此地にあり

●松川 全 百五十七哩五十三鎖

戸數七百菅原神社に名高き飛梅あり此地より延長七百九十二呎の墜道を経て福島に至る

●福島 全 百六十五哩七十五鎖

板倉氏の舊城市にして戸數五千餘、東、阿武隈河畔に瀕し南、洲河を帯び信夫山其北に峙ち半田銀山其西に聳へて風景佳絶なり養蠶尤も盛にして年々の製糸幾千萬斤なるを知らず

旅店 上安 藤金 鹽六 淺草屋 伊藤 松島屋 太田屋

松葉館 手塚屋 横山 伊勢屋等

信夫公園 北十四町の所にあり信夫草多かりしかと今は少し當地名産の信夫文字摺布は此草にて製すとなり

信夫文字摺石 福島を去る東南半里計山口村にあり河原左大臣の「陸奥の信夫もじずり誰ゆゑに亂れうめにし我ならなくに」と

詠せし所なり

大森城跡 は街南二十町計大平寺村の西十五町にあり蒲生氏郷の居りし城趾なり

紅葉山は驛の東端にあり阿武隈川の清流其下を流り秋時楓葉の勝地なり、又石那阪古戦場は東北一里餘伏拜村にあり佐藤基治の鎌倉の大軍に抗して戦死せし地なり

福島八景は信夫山秋月、洲川落鴈、小富士暮雪、福島晴嵐、信夫橋夕照、里岩夜雨、文字摺晚鐘、阿武隈川歸帆にして北畠顯家の城趾は東北四里の處にあり

飯坂温泉は北二里十町飯坂町にあり町は戸數三百餘昔日本武尊東征の時浴せられし地なりと云ふ浴場の傍らに白川樂翁自筆の碑あり又摺上川に釣を架く尤も奇巧なり

旅宿 和久屋 誘引屋 榭屋 堀江屋 角屋 佐藤屋 花水館

湯野村温泉は伊達郡湯野村にあり摺上川を隔て、飯坂温泉の對岸にあり鹽類泉にして少しく白粉色に濁れり

旅宿 叶屋 綿屋 河股屋 和泉屋 松葉屋

穴原温泉は湯野村より十五町浴舎は吉川屋、和泉屋なり

吾妻山は福島停車場の西凡五里にあり新火山にして地質學者の視察するもの多しと云ふ

●長岡 全 百七十一哩五十二鎖

戸數三百湯野村飯坂温泉に遊ぶには此停車場より下車するを以つて最も近しとす

●桑折 全 百七十四哩十五鎖

戸數一千西に半田の銀山屹立し東に柱田金山あり阿武隈川一帯

淡靄の間を流れ眺望佳絶なり伊達養蠶傳習所あり其盛なること
上州と名を均ふす

旅店 樂山樓 西屋 加藤屋 丸屋

鶯の松原は桑折町の西松原村の北にあり

半田銀山は北三十町計にあり起工三百年前なりと云ふ阿都賀山
は北一里程にあり藤原泰衡城寨を築きて源右府の兵を防ぎし所
山下に坂上田村鷹の下紐を置きし關趾あり

伊達大木戸は藤田驛と貝田驛との間にあり國見峠は左に峙つ山
下に國見神社あり社南の古松は義經腰掛の松といふ

●越河村 全 百八十二哩六鎖

宮城縣内に入りて始めての驛戸數七百廿あり此驛に龜井の清水
あり龜井六郎義經に従つて此地に來り渴して此泉を掬すと云ふ

●白石 全 百八十七哩十四鎖

戸數一千九百余旅店は岡崎屋、菅野屋、安子島屋等なり近傍古蹟
に富む鬮子山、刈田神社、菊面石、一本樹、三樹怪松、古將堂、無影
池等人の知る所なり

鎌先温泉白石を距る西方一里廿八町戸數三十昔今川義元の亡臣
一條長吉此に流寓し金創を癒し子孫永く留まり以て今の湯守一
條一平に至れりと云ふ湯質は塩氣と硫氣とを含む

客舎 一條一平 鈴木屋 最上屋 木村屋

青根温泉は白石を距る西北六里三十町刈田岳の麓にあり宮城縣
第一等の温泉なり泉質は鹽類泉にして少量の食鹽、格魯貌加留
母、硫酸曹達等を含む此地三面山岳圍繞し一方は遠く開けて松
島金華山の遠景を眺望するを得るを以つて風光佳絶なり

旅舎 不忘閣(佐藤) 醉障館(丹野)

峨々温泉は青根より一里山奥にあり奇石怪岩多くして地獄石
大黒石等あり近傍に三瀧大瀧あり亦た奇観にして避暑の好地な
り小原温泉は白石より西三里山水の景に富む鹽類泉の一種にし
て硫化水素を含む眼病、腺病、肺病、梅毒其他婦人一切の病に効
あり

旅舎 四竈屋 同利兵衛 齊藤員衛

刈田嶽は青根温泉より西三里昔火山にして頂上噴孔を存せり山
下に金峰山藏王寺あり此山多く水晶を出す三途の川其他奇岩怪
石數多あり

●大河原 全 百九十五哩二十九鎖

戸數一千百餘柴田刈田郡役所あり

旅店 高山樓 岩間屋 玉屋

此地近傍古蹟に富む兒捨河、垂上神社、輝井墓、洗元水、戰士塚、
芝田古城、鐵佛堂、白幡寺、大佛殿、喜遊古墳、船岡沼等あり
遠刈田温泉 驛を距る五里餘岩崎山の麓にあり湯五ヶ所鹽類泉
にして透明なり

客舎 佐藤源兵衛 吾妻長吉 遠藤勘五郎 大沼十郎 小室市
之丞 佐藤勘太郎等

●槻木 全 二百哩十二鎖

人口六千六百五十二にして岩沼驛に至る途中道祖神社あり

●岩沼 全 二百四哩十六鎖

名取郡第一の名邑にして陸羽街道陸前濱街道の要路に當る戸數
一千二百餘

旅店 蓮田屋 渡邊屋

遠望浦 は驛の東にあり能因法師の「武隈の松は此度跡もなし千歳を経てや我は來つらん」と咏せし鼻輪の松の故蹟も亦た近きに在りと云ふ

●増田 全 二百八哩五十四鎖

人口二千八百六十名高き衣笠松は驛内にあり又東方一里余の地は閑上濱と云ふて海水浴場あり

實方中將の墓 西方一里許り鹽手村の竹叢の中にあり實方朝臣は一條院の御宇殿上にて恨みある行成卿の冠を打落せし罪にて陸奥へ配流せられし御方なり「さくらかり雨は降り來ぬおなじくはぬるとも花の影に宿らん」又「都には聞きふりぬらん時鳥關のこなたの身こそつらけれ」の歌あり

埋木は中田村の名取川より出づ硯材及び印材に用ゆ

●仙臺 全 二百十五哩十二鎖

伊達公の舊城邑にして戸數一万三千二百人口六万〇九百八十四廣瀬川其北を流れ宮城野其東南に連り東北松島の勝地を控へ西北青葉峰を繞らし師團本營を青葉城趾に分營を躑躅岡に置けり旅店は大泉を以つて第一とす(國分町二丁目)にあり(其他針久

菊平(二者國分町二丁目)にあり) 杉本(南町)にあり) 志茂

(停車場前にあり) 以上上等宿にして次に位するものは安

藤 奥田 加藤 齋忠 丹野 瀬戸 橋本 山形屋等なり

料理店 櫻岡公園地内挹翠館 榴岡梅林亭 停車場前陸奥館

元寺小路喜多川 東一番丁都川亭 新河原町對橋樓

立町通三河屋

仙臺

東照宮は市の北隅にあり宮殿及境内は政宗公日光の景に倣ふて
構造せしものなり

經ヶ峯の靈廟は正宗卿以下三氏の墳墓にして廣瀬川の西にあり
愛宕は市の南に峙ち松島の灣金華の峰名取の山野七ツ森の奇峰
一々眼中に落つ

林子平墓は伊勢堂下土橋通り龍雲院の境内にあり

櫻岡公園は市の西端にあり借樂園と云ふ正宗卿が朝鮮より齎し
歸りたる般若の松八房の梅あり

榴ヶ岡は停車場の東にあり昔しは躑躅多くありしが今は其影を
見ず唯古歌の残るあるのみ

みちのくの躑躅ヶ岡のくまつら

つらしと君を今日ぞ知りぬる

東路やつとじが岡を來て見れば

赤装あかぢのすそに色ぞ通へる

市外亦古蹟多し今左に著名なるものを記して旅客の便となす

燕澤蒙古の碑は東南一里餘にあり古体又は梵字様にして讀むべ
からず此碑は元の僧祖元の立つる所にして弘安五年仲秋二十日
に建つとあり(祖元伴つて歸化と稱し我國の動靜を視ひ潜かに
本國に報せしもの後ち元大に悔ひ其徒清俊をして死者十萬の靈
を祭る爲めに此の碑を立てしものなりと云ふ)

宮城野は榴ヶ岡以東の平原をいふ古へは此地の大守より年々鈴
虫を將軍家へ献上せしものなりしが今宮城野と稱するは僅々五
六町にして陸軍練兵場となれり唯古歌の残れるあるのみ
をもしつる宮城か原の下露に信夫文字摺乾く夜ぞなき

小萩原まだ花咲ぬ宮城野の鹿やこよひの月になくらん
匡 房

宮城野の木の下露に立ぬれていく夜か鹿の妻を戀ふらん
敦 仲

宮城野の萩や小鹿の妻ならん花咲きしより聲も色なる
雅 有

秋保御湯 西方五里湯本村にあり鹽類泉にして硫氣を含む
讀人不知

作並温湯 西方七里にあり硫黄泉にして透明なり浴舎は古湯に
岩松要、同苗傳兵衛、新湯に森谷小池の四戸あり定義温泉は西方
六里大倉村にあり夏時避暑に來る者多し

●岩切 全 二百二十哩十鎖

仙臺より青森に到る鐵道線路の岐るゝ處にして右折して鹽竈に
至る近傍古蹟多し

多賀城は東南二十町にあり碑あり壺碑と云ふ神龜元年鎮守府將
軍大野朝臣の置く所あり四境の遠近を示したる者なり古歌あり
陸奥のいはて信夫はえろしらぬかき悉してよ壺の碑

陸奥は奥ゆかしく予思はるゝつばの石ふみ外の濱風
賴 朝

末の松山は八幡村隣障寺と云ふ寺林中にある高丘を云ふ
西行法師
霞立つ末の松山はのゝと浪に花さく横雲のうら

契りきな記念に袖を絞りつゝ末の松山浪にさるとは
家 隆 卿

又野田の玉川は雷碑を距る十町にあり十符池は多賀城趾の南にあり洞雲寺は停車場の西七田驛にあり曹洞宗にして堂宇壯嚴なり

●鹽竈 全 二百二十五哩

戸數七百五十あり一名千賀浦と稱す石巻萩の濱と小蒸瀛船の往復あり東京よりの旅客にして松島に遊ばんとするものは先づ此地に至り是より舟に乗りて行々勝を探り松島町に上り松島停車場に出るとを順路とす

旅店 齋藤民次 海老屋 山田與八郎 太田屋

鹽竈神社は停車場の西北五町にあり表阪女阪の二ありて女阪の中腹に割烹店勝書樓あり社頭に泉三郎忠衡の寄附に係る南蠻鐵

の神燈ありて稀世の珍物と稱せらる（忠衡は奥州押領使藤原秀衡の三男なり）

神釜社は神釜を祭る傳へ云ふ太古塩土老翁始めて鹽を此釜に煮て其利を民に教ふと又翠松磯しほつぎ。籬島等の勝あり鹽釜八景は塩釜暮煙、籬島斷雨、社頭賞春、法蓮臨湖、江郷春雪、前津泊舟、松浦秋月、壺碑懷古

松島の名勝

所謂松島三百余島は松島村の灣上に星羅碁布して一楫を投じて一景を變じ一櫂を搖かして新勝を見朝々暮々氣象萬千眞に眼迷ひ心飛ぶの奇景なり

鹽竈より海上三四里群島一々異なりて或は舞ひ或は躍り或は碎け或は突立して青松其上を縫綴せり就中雄島の洞門籬島の明神

瀬ヶ島の魚生菓の如き旅客の嘆賞して已まざる所なり其他宮戸桂澤、象ヶ鼻、岩青、春磯、經島、福浦、燒島等の諸島皆古人の詠みし島なり又眺望の勝地は松島村の觀瀾亭（村の西月觀崎にあり元仙臺侯の遊館）手樽村にある富山等にして全島を一眸の中に見る松島村は鹽竈より三里松島館、加賀三亭、鈴木屋等の旅館あり戸數百戸許硯石、埋木細工福浦竹等の名産あり

石の卷港

北上河の注入する所にして仙臺を距ること十三里鹽釜に至るの瀛船は日々四回の發着あり戸數千五百運河は政宗卿の開鑿せしものにて北上川より分注して鹽竈石の卷の間の運輸に便するものなり此間五里舟行して石の卷に至る此地より萩の濱迄東方五里名勝は烏帽石、衣袖渡口、日和山等なり

金華山は鹽竈を距る海路二十里寺を大金寺と云ふ山の高八十丈北岬を二王崎と云ひ東岬を大箱崎と云ひ南岬を蛇穴崎と云ふ恰も洋中に聳つが如し山水の美なることは大槻磐溪の詩を見て知るべし

屹立煙霞縹渺間、海東名嶽是仙寰、千秋赫々金華句、無後人呼陸奥山

●利府 全 二百二十二哩六十一鎖

戸數二百計仙臺より野蒜港に至る街道の一驛なり

●松島停車場 全 二百三十哩

松島停車場は松島の海岸を距る西北三十二町にあり松島探勝者にして松島以北の人は此停車場より松島浦に出づる方便なり

●鹿島臺 全 二百三十六哩四十鎖

戸數一千二百余品井沼は周回五里二十四町

●小牛田 全 二百四十二哩二十鎖

戸數六百餘婦お辰の墓は西方二里半天性寺にあり又西北十里余に温泉村の八湯あり鹽類泉なり新車鳴子の浴舎あり閑雅陸前第

二とす

●瀬峰 全 二百四十九哩五十五鎖

停車場より東南半里許に蕪栗沼あり方二里余中に數島あり雁鴨鴛鴦常に群がる

●石越 全 二百五十九哩十七鎖

戸數一千四百旅店は停車場に石越屋あり

●花泉 全 二百六十四哩十四鎖

磐手縣に入り始めての驛にして戸數五百十余、有壁の墜道長さ

八百八十六呎を過ぎて一の關に達す義經の墓は西一里十五町有壁驛の西にあり又有壁より南一里半澤邊驛に梶原景高の咏歌せし津久毛橋あり

●一の關 全 二百七十一哩六十八鎖

安倍貞任追討の際源義家一二三の關を置きし古跡にして磐井郡役所あり戸數九百旅店は清風館、石橋屋とす

平泉の館は停車場を距る北方凡二里余平泉村にあり藤原秀衡の居所たり舊跡は僅かに壕を存するのみ平泉村は現時戸數一千餘判官館は源義經家兄二位の忌諱に觸れ秀衡を便りて陸奥に落ちし際住みせし館なり館趾の西に義經堂あり内に義經其他の塑像を安す又左傍に辨慶堂あり内に辨慶の像を安す(館は衣川にあり衣川は驛の北一里半線路中にあり)

中尊寺は古來日光に駕すべし塔宇なりしが中古燒失にかゝり今僅かに金色堂經藏堂の二字を殘せり

五串の瀧は停車場の西北二里餘嚴美村にあり景色の幽遠なる殆んど木曾の寢覺に似たり

栗駒山は驛の西南磐井郡にあり古歌あり

みちのくの栗駒山の朴の木に枕はあれど君が手枕

人 九

●前澤 全 二百八十一哩

戸數千三百余東五町余に枯櫻あり芭蕉翁の句あり
山にふじ陸奥にこの櫻かな

●水澤 全 二百八十七哩三十三鎖

戸數二千余膽澤江刺郡役所あり驛より官道を一里計り北に宇佐

美村あり此村を左に八町計り入りて八幡社あり古への鎮守府の趾なりと云ふ官道より八幡前に至るまで方八町許りは當時常備團兵五千餘人を置きたりと云ふ蓋し聖武帝の御宇大野東人を東海東山節度使兼鎮守府將軍と爲し奥州に遣はしたるが始めにして此地は即ち其根本地なりと云ふ

●黒澤尻町 全 二百九十八哩十三鎖

●花巻 全 三百五哩七十四鎖

安倍頼時の始めて城を築きし所にして現時戸數六百余あり

●石鳥谷 全 三百十三哩

●日詰 全 三百十六哩二十八鎖

戸數六百陣ヶ岡は驛の西にあり康平中源頼義父子安倍貞任征討の際營を布きし所にして今尙其遺壕あり高水寺は驛より北一里

余にあり稱徳天皇の御宇一丈の観音を諸國に安置せし其一なりと云ふ

●盛岡 全 三百二十七哩七十二鎖

戸數八千二百余岩手縣第一繁華の地なり北上川の西岸に沿ふて市街をなす石の巻より明治橋迄五十里瀛船を通して運搬の便を開く此地舊南部氏の城邑にして今岩手縣廳の所在地たり

旅店 村田屋(十三日町) 清風館(停車場前) 成瀬屋(肴町)陸奥館(停車場前) 高田屋(六日町) 杉本屋(肴町) 佐藤正八(吳服町)

南部富士 市の西方六里許りに聳つ岩手山と云ふ市中より望めば風色絶美なり山頂に岩手神社あり

安倍館は縣廳を距る二十町厨河村にあり昔阿部貞任宗任源義家

と戦ひ敗つて此地に落ち來り居住したる遺跡なりと云ふ今尙は石垣等の遺跡を存す

外山牧場 は南方七里計にあり廣さ凡う四千町歩あり

網張温泉 は西北六里計り南部富士の麓にあり鹽類泉にして風景絶佳の地なり南部富士盛岡市を遠望し車石川の清流を下瞰し茫々たる原野は緑を布きたる如く牧牛馬點々として霞の中に行くさまなど眞に客愁を拂ふに足る

●好摩 全 三百四十哩七十一鎖

驛は茫々たる好摩の原野中にあり近傍山中に鑛山多し

●沼宮内 全 三百四十七哩四十四鎖

戸數五六百水田少くして概稗粟の類を食す是より延長七百六十二呎の大塚谷の墜道を通して中山に達す此地海濱を距る十余里

あり又中山峠の中間に北土観音あり其本尊は源義家の胄中に戴き居たるものなりと稱す堂右に岩あり清水湧出す弓弭清水と云ふ是れ北上川の源なり昔源頼義兵士の渴を慰せんが爲め弓弭を以て岩を突きしに清水忽ち湧き出たるものなりと云へり

●中山 全 三百五十五哩十九鎖

陸奥國に入り始めての驛にして軍馬養成所を設け陸軍省の用馬多く此地方より出づ西行法師の歌は「東路のあひの中山はと狭み心の奥の見ゆはこそあらめ」とは此所を云ふなり

●小鳥谷 全 三百六十四哩六十六鎖

兩山脈隘迫せる處にして馬淵其間を屈曲して流れ奇岩峻峭斷崖絶壁の所に長橋を架し鏡車中恰も虹霓中に坐するの思ひあり

●一の戸 全 三百六十七哩五十四鎖

戸數七百餘北半里餘に名高き末の松山あり一名波打峠と云ふて今尙路傍の岩石に波の跡あり

越ぬにける浪を得られて末の松千代までとのみ頼みつるかな

藤原能道

松山と契りし人はつれなくて袖こそ浪に残る月かけ

定家

●福岡 全 三百七十一哩四十八鎖

戸數八百是より金田一を経て釜澤村あり此所を以て岩手青森の縣界とす

●三の戸 全 三百八十二哩七十四鎖

戸數一千百餘驛の東に三戸城趾あり又東一里計りに名久井岳あり長慶天皇行宮の趾ありしと云へり

●尻内

全 三百九十五哩四十八鎖

盛岡より此地まで深山幽谷なるが此地に至りて山開け稻田遠く海に逆り眺望頗る佳なり

●八戸

全 三百九十八哩七十八鎖

戸數二千八百余東北に於ける一港灣にして南部眞房氏の舊城市たり三戸郡役所等あり土人此地を小南部盛岡を大南部と稱ふ産物は即ち馬を以て第一とす

長者山 は八戸城趾に接する小丘にして下に新羅神社を祀れり傳ひ言ふ文治年中藤原秀衡の三男和泉三郎忠衡が股肱の臣板橋長治なる者義經主従を護して此の地に來り一好地を卜し芝を積んで垣となし粗屋を其内に構へて竊かに居らしむ之を長治山と名けしものなるが後ち轉訛して長者山と云ふに至れりと

三本木野 八の戸以北野邊地近傍に至るまで凡十里間の茫渺たる原野を總稱して云ふ原中に一村あり下田と云ふ戸數五百五十餘

●古間木

全 四百八哩五十七鎖

●沼崎

全 四百十五哩十七鎖

又原中の一村にして停車場の近傍に小河原沼あり周回十三里碧波鏡の如く風景佳絶なり故廣澤安任氏の牧場は沼の邊りにあり其他原中に牧場多し

●野邊地

全 四百二十八哩二十七鎖

戸數一千八百餘驛内殷富にして豪家多し馬門の戰場は戊辰の役津輕兵と南部兵と激戦せし地にして北半里計りにあり温泉二ヶ所あり馬門温泉と云ふ

●小湊 全 四百三十八哩七十九鎖

驛の右手に雷電神社あり延暦中坂上田村麿の創立するものなりと云ふ是地より延長一千零五十四呎の土屋墜道を経て淺虫に達す

●淺虫 全 四百四十五哩二十二鎖

此地は天然の温泉並に海水浴ありて浴客甚た多し泉質は硫黄泉なり湯島、鵜島、裸島などの島嶼點々散布して風光の好きこと小松島と云ふも可なり驛端に唐味棧橋あり昔時怒濤山根を嚙み行旅道なきを以つて纒かに棧橋を架けて往來すと云ふ今尙古蹟を存す

●青森 全 四百五十四哩六十六鎖

北門の要道にして戸數五千餘堤川東境を環流し北は函館と海灣

を擁し船舶常に輻輳せり縣廳は新町の西にあり旅店は中村多助中島政吉 津島彦太郎 田澤市太郎 宮川慶五郎等なりとす
有名各地里程

函館へ 海上五十九里 黒石へ 八里二十六町

弘前へ 十里半 田名部へ 廿四里卅五町

七戸へ 十六里十四町 八戸へ 廿九里廿三町

善知鳥神社 は安方町にあり大同年間の創建にして市杵島姫命多紀理姫命、多岐都姫命を祭る

外ヶ濱は古來歌人の咏唱せし所にして頗る風光に富めり濱は上磯より野邊端までを總稱して云ふ西行法師の歌に「みちのくのおくゆかしくも思はゆる壺のいしふみそとの濱風」とあり
油川(一名大濱)青森より北一里餘程にあり前途望ある港灣なり

○信越鐵道

(日本鐵道會社の上野高崎間線路と官設鐵道の高崎直江津間線路とを併稱す) 野高崎間延長六十三哩高崎直江津間延長百十七哩三鐵(王子赤羽は東北鐵道に出づ)

上尾 人口二千六百十餘 旅店は細井増田等産物は紅花とす 東京を距る北九里二十三町の所にあり 桶川 人口三千百四十餘 旅店は井筒、栗原等鶴鳩の巢 旅店は繪馬屋鈴木屋等にして勝願寺箕田八幡社等あり 吹上 名物鮎のうるかあり 熊谷 戸數四千三百餘 東京より十七里四町郡役所浦和裁判支廳劇場等あり 古跡には西三里半秩父山の麓に島山重忠の城趾北二里半永井村に齋藤實盛の舊住所熊谷直實の古蹟蓮生山熊谷寺あり 深谷 北二十四五町岡部村に岡部彌太の舊趾あり 本庄 戸數千六百五十餘 旅店は三浦屋諸井屋等驛内に砥岡神社ありて六月廿七日の祭日には頗る賑かなり 新町 人口二千五百餘 三越紡績所等あり 旅店は三ッ俣崎玉屋等にして勝地には西四里に淨法寺鑛泉ありて近傍神流川に鬼石の奇景等多し 其他西南二里餘に多胡の碑東南半里餘金久保村に武田晴信の室の居住せし陽雲院等の古跡あり 高崎 戸數五千餘 古赤坂の庄と云ひし所なり和田義國の居りし高崎城趾、佐野舟橋の古跡、上和田蘆川、ガラメキ(北二里餘)等の諸鑛泉あり 旅店は、塙屋、信濃屋、奇美與志屋、

越後屋、枳屋等あり 此地より東北六哩を経て前橋の支線あり 前橋は兩毛鐵道に連絡する所にして鐵線亭、油屋、松坂屋、住吉屋等の旅舎あり 岩神、利根橋、敷島河原、龍海院等遊覽所甚だ多し 伊香保溫泉は五里二十九哩藥山館、仁泉亭、聚遠館、聖翠館、等の浴館あり 安中 戸數一千八百餘 碓氷郡役所あり 製糸場の名高き富岡は西南二里廿一町の所にあり 鑛泉は猪谷津鑛泉とて僅か十五町の所にあり 其他里見、徳の真山の城趾あり 碓氷 戸數二百五六十 東京より三十二里 溫泉宿は鳳來館、對番樓、三景樓、山城軒、信泉亭等とす 佐々木盛綱の城趾、大野九郎兵衛の墓、豊の名所なる横野等近傍にあり 松井田 妙義山は三十八町の處にあり 白雲、金洞、金雞の三峯よりなり 野立三百尺の天狗の摺鬚若百合若大臣の射拔岩等あり 山下妙義町に旅舎蘆屋あり 又半里を隔て、郷原溫泉及八咫溫泉あり 旅店は鮮屋、土屋等なり 横川 輕井澤迄六哩七十五鎖二十六の隧道あり 西北二里餘碓氷峠の山上に霧積溫泉あり 旅舎は長生館、淡香館 錦楓閣等あり 輕井澤 東京を距る三十七里 高崎へ十二里 上田へ十二里 長野へ十二里 諏訪へ十五里あり 旅舎は龜屋、萬松軒等なり 外國人の避暑者毎年三百以上あり 御代田 人口一千五百八十餘 小諸 戸數二千五百餘、巴屋、鶴屋等の旅舎あり 田

中 戸數四百●上田 戸數五千餘西南に眞田昌幸の築きし上田城趾あり生糸の製造盛んにして信陽館、仲張館等の生糸場あり産物は上田絹絹縮縮等なり旅店は菱屋、上村屋等なり又西南十五里餘に松本町あり戸數七千餘●阪城 人口四千〇八十餘難論山を遊覽するには此所にて下車すべし娘石満月堂等あり●屋代 人口三千六百三十餘●篠の井●人口一千五百九十犀川沿岸に川中島の古戰場あり●長野 戸數七千餘旅舎は長野ホテル、對旭館、藤屋(本店大門町)は停車場前に支店あり其他五明館(全上)花房屋(權堂町)山本屋(大門町) 扇屋等多し名高き善光寺には阿彌陀の胎内くぐりあり參詣者日々數百人なるを知らず月隱山は東北四里三十町の所にあり●豊野湯田中温泉は四里平隠村にあり温泉より東南里余に琵琶池閑滿瀨の勝地あり佐久間象山此瀨を愛し雲錦と稱せり又湯田中の近傍に象山の墓及び瀧温泉等あり●牟禮豊野より四哩七十鎖●柏原●戸數五百余是より三十四五町野尻に絶勝の芙蓉湖あり●周回三里三十町余●田口 赤倉温泉は西一里余にあり香嶽樓、村越屋、高田屋、南部屋今町屋、和泉屋等の温泉宿あり●關山 西三里に關山温泉あり又松山温泉は近傍にあり●新井 一里倉下村に火の出る井あり●高田 戸數七千余旅舎を三館茨木坪屋等

ます上杉謙信の軍扇は壽永寺にあり●直江津 戸數三千余旅店は松葉館、古川屋、田尻屋、小林屋、直溪館、石原屋、清水屋、尾澤等とす春日山は東南半里許り又近傍鹽屋新田に國分寺あり新瀉は北三十里半にあり

○甲武鐵道

(東が飯田町を起點とし牛込、市ヶ谷、四ツ谷、信濃町の四停車場を経て新宿に至り西一直線に入王子に通ずる延長二十六哩七十六鎖の線路)

新宿 日本鐵道の新橋赤羽線は此驛にて甲武鐵道線路と横又す名所を近傍の大久保の躰躰とす●中野 新宿を距る二哩六十四鎖除厄の御影は南十五六町に新井薬師は北五六町に幡ヶ谷不動は北十町にあり●荻窪 近傍に井の頭辨財天、大池等の勝地あり●境 南廿町深大寺村に名高き深大寺蕎麥あり小金井の櫻は境より小川村に至る五十七町の間において外九ヶ村に及び 兩岸の長堤一萬有余の櫻樹並列せり毎年四月十五六日より二十日頃迄を盛開の節とす 花見の最好場所は小金井橋より喜平橋梶野橋までとす此地昔し享保年間川崎定孝なるもの台命を奉じ大和吉野山より移植せしものと云ふ飲食店は小金井橋畔に柏屋等あり 聞わたる天の河原が咲花の雲の中行く水のひとすぢ

甲武鐵道及總武鐵道

國分寺 川越鐵道は此驛より起れり近傍に國分寺貫井辨財天等あり國分寺より東南一里程に府中驛あり戸數一千余旅店中屋、松本屋等あり大國魂、谷保天神、向ヶ岡、百艸園等の勝地亦た近傍に多し立川 多摩川の沿岸にありて鮎漁の好遊地なり停車場前に丸芝の茶店ありて案内をなせり是より西南四里に網代鐵泉あり日野 亦た鮎の好遊地にして玉川亭の案内所あり八王子 戸數五千余生糸織物の盛なること甲武第一と稱す旅店は角屋、山上、倉田屋等料理店は萬林、若松とす子安明神、散田眞覺寺は近傍にありて高雄山は西方二里十五町にあり琵琶瀧、蛇の瀑の二瀑ありて幽邃なる勝地なり

○總武鐵道

(本所區を起點とし舟橋千葉を経て佐倉に至る三十一哩四十四鎮の線路)

本所區起點地市川 戸數四百近傍に古跡多し太田道灌の陣せし國府臺、弘法寺、眞間の浦、手兒茶堂、總寧寺等あり松戸市川より北一里半東葛飾郡役所あり又相摸一と云ふ古跡あり中山 八幡神社、妙正ヶ池、勝間田の池等近傍にあり舟橋 戸數數千平將門の愛妾桔梗の前の舊趾、意富比神社慈雲寺等近傍にあり幕張 戸數二百近傍に頼朝の旅館に充てし鷺沼あり又東一里に稻毛海水浴あり旅館海氣館あり

千葉 戸數三千縣驛は市場町にあり千葉神社、猪の鼻臺、又南三十町許に千葉大藏寺あり君待橋は町の南端築川村にありて昔し藤原實方朝臣陸奥へ流さるる時寒川や思ヶ浦にたつ煙り君をまつ橋身に介知らるること詠みし所なり佐倉 戸數八百堀田氏の城邑なり將門山古城趾、宗吾靈堂(停車場より一里二十町公津村臺方にあり大法會は宗吾の歿せられし日即ち八月三日)成田山新勝寺等皆一見すべき地なり成田山は停車場より三里餘成田町にあり旅宿は海老屋、飯田屋、大野屋、若松屋、小川屋、蓼屋、駿河屋等なり

○兩毛鐵道

(下野小山驛を起點とし栃木足利を経て上野の桐生を過ぎ前橋に達する延長五十二哩餘の線路)

小山 東北線に出つ栃木 小山より六哩六十鎮戸數三千六百餘毎月三八の日を以て麻苧の市場を開く菅野川秀光の居城なり旅店は笹屋、武澤、金牛料理店は鯉安、すし傳等とす勝地には錦着山公園、室八島、瀧岡大平山(西一里半)柏倉琴平社(西南二里餘)出流大荒瀨(四里)等あり岩舟 戸數一千餘栃木より五哩三十二鎮慈覺大師誕生地の古跡石材産地の岩舟山等あり佐野 戸數二千三百餘佐野源左衛門の出でし地にして旅店は齋藤、高砂屋、料理店は金子、田島樓、川村等西北一里に藤原秀郷の築きし

兩毛鐵道

唐澤山の城趾あり今公園となり多く松茸を産す其他關八州を一望する八州山、安藤沼の古跡あり此地毎月四九の日に木綿織物の市をなす 又此地より二里半にして名高き館林町あり戸數二千五百餘 足利 戸數四千五百毎月五十の日に絹木綿の市をなす 又産出する織物は毎年三百万個にして價二百万圓足利尊氏の起りし地にして 小野篁の建てし足利學校の舊跡あり 又孔子の廟栃木縣工業學校足利公園等見るべきもの多 又旅店は、初谷、巴屋、古久屋、料理店は相模樓、初谷なり 小俣 戸數一千五百多く幣地を出す 桐生 戸數四千山田郡役所、日本織物會社、桐生縮緬會社等あり織物産額は毎年百三十万個にして三百万圓内外旅店は金木屋、角屋、料理店は山二、林屋とす新町織泉は新町に高津戸の奇景は東北一里廿五町の處にありて 羽根澤斷橋の勝地あり 大間々 戸數千五百南一里半に駈塚鑛泉一里廿町に櫛下及び廣宣鑛泉あり赤城山は西北五里三十町妙義様名を併せて下毛の三名山と稱す石垣沼其他一沼ありて 風景畫圖の如し山麓に湯の澤及不動鑛泉あり大間々の旅舎を豊田屋、鶴屋、料理店を三澤屋、海老屋等とす 國定 俠客國定忠次の生れし所なり 伊勢崎 戸數一千八百余佐位郡役所あり錢屋、新井屋等の旅舎あり又三十町の處に藥師山鐘泉東南三里三十町に

岩理及び入長岡鑛泉あり 其近傍に新田義貞の始て兵を起せし笠懸野高山彦九郎の舊跡あり其他新田義貞城趾高山神社等あり 駒形 戸數三百 前橋 北越鐵道の部に

● 水戸鐵道 (日本鐵道會社の東北鐵道線小山驛より分岐して水戸市に至る延長四十一哩四十五鎖の支線)

小山 起點地東北鐵道の部に出づ 結城 戸數二千九百余水野氏の城邑にして往昔結城氏の住みし所名高き結城紬は 此地に産す親鸞上人の配五日宮の墓は玉日にあり 川島 鬼怒川には六百九十四尺の鐵橋を架す 下館 戸數一千二百郡役所あり公園あり名高き眞岡木綿は近郷より製出す椎尾山は東南三里余を距る 瀑布樂師堂あり避暑の好處なり 岩瀬 東北三十町磯部村に櫻川の櫻花あり村内磯部神社に紀貫之の歌碑あり富谷觀音唐引山は近傍にありて 眺望宜し筑波山は岩瀬より五里余峯は男体女体の二に分れ高處は海面を抜くと三千六百尺 福原 近傍に西念寺稻田神社あり 笠間 戸數一千八百五十余西茨城郡役所あり是より土浦へ七里佐志能神社片庭の太杉近傍にあり樹の高五十間餘 六戸 戸數七百五十 内原 水戸市を距る百里半 水戸 戸數七千七百余人口二萬五千九百十五北に郡珂川を控へ南に千波沼を

擁し水戸舊城は其中央にあり市を上市下市の二に分つ旅店は鈴木屋、麴屋、伊勢屋(上市泉町)を主とす常盤公園(曾樂園と稱し日本三公園の一なり)は西南二十町計り常盤村にあり徳川齊昭の初めて開きしものにして烈公の遊息所たりし樂壽園、好文亭、阿蘭庵等あり又梅林五千余株あり第二公園は(元々弘道館のありし所)上市三の丸にあり大洗海水浴場は東三里にあり魚來庵、金波樓、小林、杵屋等の浴舎兼割烹店あり浴場の後山に大洗磯崎神社あり縣下第一の勝地とす

商界 必携

●東京米穀取引所受渡米代用格付表 要則

- 一 建米ハ明治廿九年産武藏國中米(産米ノ等級チ一等九等ニ區トス)
- 一 全國産米ハ建米ニ比準シ本表格付ニ從ヒ代米ト爲スコトヲ得
- 一 格付ノ方法ハ現場ニ臨ミ建米比準ヲ原則トシテ各等級ヲ檢定シ平均ヲ求メテ其價格ヲ定ムルモノトス
- 一 不熟風災其他惡米ニシテ引石ヲ付スヘキモノハ受渡米規程第六條ニ依ル
- 一 特別優等米ハ檢査ノ上本表格付ノ外特ニ其價格ヲ進ムルコトアルヘシ
- 一 此格付表中規定ナキ内國産米ハ受渡期日五日前ニ取引所ニ届出ベシ受渡ノ際其現品ヲ檢査シ相當ノ價格ヲ定ムルモノトス
- 一 稗混合多分アリト認ムルモノハ檢査ノ上特ニ價格ヲ下スコトアルヘシ
- 一 粉混合ノ引石千分ノ八以上ト認ムル者ハ受渡ニ取用非ザルヘシ

俵數ニ除シ壹俵ニ付貳升以上ノ引石ヲ付スヘキ割合ニ當ルモ
 ノハ受渡ニ用ヒサルヘシ若シ此割合貳升以上ニ至ラサルモ毎
 俵引石ヲ付スヘキ米品ナルトキハ受渡ニ用ヒサルモノトス
 但シ不熟米又ハ風災米ハ其壹廉ノ俵數中十分ノ七以上ノ割合
 ニ當ルモノト認ムルトキハ之ヲ受渡ニ用ヒサルヘシ
 第七條ヲ左ノ通改正ス
 第七條 渡米ノ内通常米拵方ヨリ粗雜ニシテ多分ノ粉ヲ混入
 シ居ルモノアリテ其一口ノ全俵數ニ平均シ一俵(四斗入)ニ付
 通常ノモノヨリ三合二勺(凡ソ千分ノ八)以上ノ引ケ石ヲ要ス
 ル割合ニ相當スルモノト検査係ニ於テ認ムルトキハ受渡米ニ
 取用ヒサルモノトス

●東京米穀取引所證據金

一石ニ付	十石ニ付
七圓より八圓迄	四圓
八圓より九圓迄	四圓五十錢
九圓より十圓迄	五圓
十圓より十一圓迄	五圓五十錢

十一圓より十二圓迄.....六圓
 十二圓より十三圓迄.....六圓五十錢

右之通り候也
 追敷之義は四分高下毎に差入るゝこと
 非常亂高下の節は臨時増證據金をなすことあるべし
 毎月二十五日に於て増證據金差入るゝこと但し五分數なり

●定期米賣買手數料證據金表

直取	金十錢
延取	金二十錢
定期取引	一石ニ付
青石の時價	證據金既入の分
八圓一錢より九圓まで	十石の口錢
九圓一錢より十圓まで	廿五錢
十圓一錢より十一圓まで	廿七錢
十一圓一錢より十二圓まで	三十錢
十二圓一錢より十三圓まで	三十三錢
同證據金未入の分	三十六錢

一石の時價	八圓〇一錢より九圓まで	十石の口錢
九圓〇一錢より十圓まで	十三錢五厘	
十圓一錢より十一圓まで	十四錢五厘	
十一圓一錢より十二圓まで	十五錢五厘	
十二圓一錢より十三圓まで	十六錢五厘	

検査及辨廻料	受渡米費用概目	百俵二付	金八十錢
但受渡雙方より半額宛取引所へ納入			
小揚賃		百俵二付	金四十錢
蔵出入賃		全	金四十五錢
解賃		全	金四十五錢
蔵所受拂手数料		全	金一十圓也
金穀引替手数料		百圓二付	金二十圓
蔵敷料(並蔵)一戸		一ヶ月	金三圓五十錢
同(割蔵)百十		一ヶ月	金七十五錢

●仲買人より客に對する規約

- 一 當取引所定款及び諸規則御熟知の上御注文被下候事
- 一 相場の高低に依り既入の證據金を半額の減少を來したるときは追證據金として其減少したる金額を御入金可被下候事
- 一 尙引續き高低に従ひ追證據金を要するときは爾後何回にても前項の割合を以て御入金可被下候事
- 一 追證據金を要し候際御入金無之ときは勿論其金額御送付の御通知あるも弊店に未だ入手せざる場合に於て相場の高低甚しく爲めに證據金の未だ入手せざる場合に於て相場の高低甚しく相認め候節は御承諾を要せず直ちに轉賣買戻しの手續に取計可申義も可有之候事
- 一 増證據金の御差入無之時も其賣買米は前項に依り處分可仕候事
- 一 前二項の場合に於て決算上過乘金は返戻し不足相立候は、速かに請求可仕候事
- 一 賣買米轉賣買戻の後計算御請求の節は此通帳御返戻可被下候は無効たるべき事由に依り御返戻無之も計算濟の上は此通帳

●雜穀 內國大麥同小麥大豆 同小豆外國大豆

十四

拾	帳入直段	油 油 粕	帳入直段		本證據金	客方手數料
			既入	未入		
五	四	四	二圓以上	三圓未滿	二圓	既入
四	圓	圓	三圓以上	四圓未滿	三圓	未入
四	圓	圓	四圓以上	五圓未滿	四圓	未入
	未滿	未滿	五圓以上	六圓未滿	五圓	未入
	未滿	未滿	六圓以上	七圓未滿	六圓	未入
	未滿	未滿	七圓以上	八圓未滿	七圓	未入
					八圓	未入
					九圓	未入
					十圓	未入
					十一圓	未入
					十二圓	未入
					十三圓	未入
					十四圓	未入
					十五圓	未入
					十六圓	未入
					十七圓	未入
					十八圓	未入
					十九圓	未入
					二十圓	未入

●石油

付 = 枚	帳入直段	●石油	帳入直段		本證據金	客方手數料
			既入	未入		
八	圓	圓	壹圓五拾錢	未滿	壹圓	既入
七	圓	圓	貳圓五拾錢	未滿	貳圓	未入
七	圓	圓	參圓五拾錢	未滿	參圓	未入
六	圓	圓	肆圓五拾錢	未滿	肆圓	未入
六	圓	圓	伍圓五拾錢	未滿	伍圓	未入
五	圓	圓	陸圓五拾錢	未滿	陸圓	未入
			柒圓五拾錢	未滿	柒圓	未入
			捌圓五拾錢	未滿	捌圓	未入
			玖圓五拾錢	未滿	玖圓	未入
			十圓五拾錢	未滿	十圓	未入
			十一圓五拾錢	未滿	十一圓	未入
			十二圓五拾錢	未滿	十二圓	未入
			十三圓五拾錢	未滿	十三圓	未入
			十四圓五拾錢	未滿	十四圓	未入
			十五圓五拾錢	未滿	十五圓	未入
			十六圓五拾錢	未滿	十六圓	未入
			十七圓五拾錢	未滿	十七圓	未入
			十八圓五拾錢	未滿	十八圓	未入
			十九圓五拾錢	未滿	十九圓	未入
			二十圓五拾錢	未滿	二十圓	未入

十五

●種水油

付 = 函壹	帳入直段	●種水油	帳入直段		本證據金	客方手數料
			既入	未入		
壹	圓	圓	壹圓五拾錢	未滿	壹圓	既入
貳	圓	圓	貳圓五拾錢	未滿	貳圓	未入
貳	圓	圓	參圓五拾錢	未滿	參圓	未入
貳	圓	圓	肆圓五拾錢	未滿	肆圓	未入
參	圓	圓	伍圓五拾錢	未滿	伍圓	未入
參	圓	圓	陸圓五拾錢	未滿	陸圓	未入
參	圓	圓	柒圓五拾錢	未滿	柒圓	未入
參	圓	圓	捌圓五拾錢	未滿	捌圓	未入
參	圓	圓	玖圓五拾錢	未滿	玖圓	未入
參	圓	圓	十圓五拾錢	未滿	十圓	未入
參	圓	圓	十一圓五拾錢	未滿	十一圓	未入
參	圓	圓	十二圓五拾錢	未滿	十二圓	未入
參	圓	圓	十三圓五拾錢	未滿	十三圓	未入
參	圓	圓	十四圓五拾錢	未滿	十四圓	未入
參	圓	圓	十五圓五拾錢	未滿	十五圓	未入
參	圓	圓	十六圓五拾錢	未滿	十六圓	未入
參	圓	圓	十七圓五拾錢	未滿	十七圓	未入
參	圓	圓	十八圓五拾錢	未滿	十八圓	未入
參	圓	圓	十九圓五拾錢	未滿	十九圓	未入
參	圓	圓	二十圓五拾錢	未滿	二十圓	未入

帳入直段		付 = 樽壹										帳入直段		
		八	七	七	六	六	五	五	四	四	參	參		
		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓		
		未	以	未	以	未	以	未	以	未	以	未		
		滿	上	滿	上	滿	上	滿	上	滿	上	滿		
本證據金		建樽拾										本證據金		
		五	四	三	三	二	二	二	二	二	二	二		
		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓		
		三十	六十	九十	二十	五十	五十	五十	五十	五十	五十	十		
		錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢		
既入		五	四	三	三	二	二	二	二	二	二	二	既入	
客方手數料		十三	十五	十九	十一	五	五	五	五	五	五	二	客方手數料	
未入		四	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	未入	
入		十二	十六	十一	五	十	十	十	十	十	十	七	入	

●魚榨粕 (餅粕小煉粕、樽前鹽粕)

帳入直段		付 = 函二及樽一										帳入直段							
		拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	九	九	八	八	七	七	六	六	五	五
		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
		未	以	未	以	未	以	未	以	未	以	未	以	未	以	未	以	未	以
		滿	上	滿	上	滿	上	滿	上	滿	上	滿	上	滿	上	滿	上	滿	上
本證據金		建函拾建樽五										本證據金							
		五	四	四	四	三	三	三	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一
		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
		三十	九十	六十	二十	九十	五十	二十	八十	五十	十	八十	十	十	十	十	十	十	十
		錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢
既入		三	三	三	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一
客方手數料		十八	十五	十三	八	八	八	八	八	八	五	五	五	五	五	五	五	五	五
未入		三	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一
入		十	八	四	四	四	四	四	四	四	二	二	二	二	二	二	二	二	二

帳 入 直 段	●赤糖	付 = 儀 一									
		四	四	六	六	八	八	壹	壹	壹	壹
本 證 據 金	●赤糖	建 儀 拾 參									
		八	一	一	一	二	二	三	三	三	四
客 方 手 數 料	未	拾 拾 拾 拾 拾 拾 拾 拾 拾 拾 拾									
		錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢
客 方 手 數 料	未	錢 錢 錢 錢 錢 錢 錢 錢 錢 錢 錢									
		錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢

十九

帳 入 直 段	●白糖	付 = 目 貫 拾									
		壹	壹	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳
本 證 據 金	●白糖	建 目 貫 百 四									
		四	四	五	五	六	六	六	七	七	八
客 方 手 數 料	未	拾 拾 拾 拾 拾 拾 拾 拾 拾 拾 拾									
		錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢
客 方 手 數 料	未	錢 錢 錢 錢 錢 錢 錢 錢 錢 錢 錢									
		錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢

十六

